

ELECOM

無線LANブロードバンドルーター

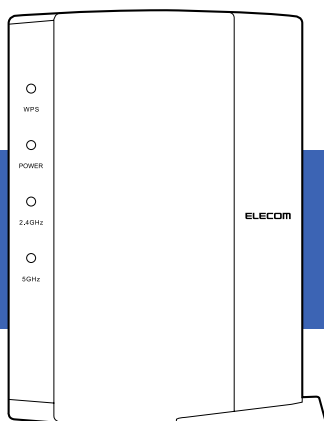
User's Manual

ユーザーズマニュアル

IEEE802.11ac/11n/11g/11b/11a対応

WRC-1167GHBK-S

WRC-1167GEBK-S



はじめに

この度は、エレコムの無線LANルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の「かんたんセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

安全にお使いいただくために	9
---------------------	---

Chapter.1 導入編

1. 製品の保証について	13
製品の保証とサービス	13
2. サポートサービスについて	14
3. このマニュアルをお読みになる前に	16
4. 本製品の概要について	18
本製品の特長	18
本製品の動作環境	22
5. 各部の名称とはたらき	23
設置方法と設置時のご注意	25
6. 設定ユーティリティについて	27
かんたんセットアップ2	27
設定ユーティリティ(詳細設定)	28
7. 作業を行う前に	30
本製品の使用用途(動作モード)を確認する	30
接続事業者との契約状況を確認する	32
終端装置のタイプについて	34
設定に必要なプロバイダー情報を用意する	34

Chapter.2 接続編

1. セットアップする	37
パソコン、タブレット端末およびスマートフォンで セットアップする	37
有線LANでパソコンをセットアップする	38
本製品(ルーター)を接続する	40
2. 本製品に無線LANで接続する	47
はじめにご確認ください	47
WPSボタンを使って接続する	48
PINコードを入力して接続する	51
手動設定で接続する	54

3.	こどもネットタイマーを設定する	55
	こどもネットタイマー2でできること	55
	こどもネットタイマー2を設定する	57

Chapter.3 詳細設定編

1.	設定ユーティリティ(詳細設定)画面について	61
	設定ユーティリティ(詳細設定)画面を表示する	61
	設定ユーティリティ(詳細設定)画面の内容	62
2.	動作モードを設定する(モード変更)	63
3.	無線設定	66
	無線設定	66
	基本設定	67
	暗号化設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)	71
	WPS設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)	85
	マルチSSID(2.4GHz帯・5GHz帯共通)	89
	無線出力設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)	92
4.	WAN&LAN設定	95
	LAN設定	96
	固定DHCP設定	99
	WAN設定	103
	DDNS設定	110
5.	こどもネットタイマー2	114
	こどもネットタイマー2でできること	114
	こどもネットタイマー2の設定について	114
6.	LED省電力設定	136
7.	ファイアウォール設定	138
	アクセスコントロール	139
	ポートフォワーディング	143
	URLフィルタリング	148
	DMZ設定	152
8.	QoS設定	155
9.	システム設定	159
	ステータス	159
	ファームウェア更新	165
	設定保存と復元	175
	パスワード設定	181
10.	かんたんセットアップ2	184

1. AP(アクセスポイント)モードで使う	186
2. 子機モード(コンバーターモード)で使う	191
3. 中継器モード(リピーターモード)で使う	199
4. 無線のつながりがよくない、 頻繁に切れるを解消したい	206
5. 無線のセキュリティを上げたい	210
6. SSIDの表示を第三者に見られないようにしたい	214
7. 来客用のWi-Fiの設定をしたい	217
8. こんなときは	224
無線LAN関係のトラブル	224
共通のトラブル	226
9. パソコンのIPアドレスの確認方法	228
パソコンのIPアドレスを表示する	228
工場出荷時での表示結果	233
10. 基本仕様	234

機能目次

セットアップ

設定ユーティリティ	
かんたんセットアップ2	27、184
詳細設定	28、61
セットアップ(初期設定)	
無線LANでセットアップ	37
有線LANでセットアップ	38

無線LAN

接続	
無線LAN子機を接続する	47
WPSボタン	48
PINコード	51
手動設定	54
設定	
基本設定	69
暗号化設定	73
WPA	73
WEP	79
WPS設定	86
マルチSSID	90
無線出力設定	93
無線チャンネルの変更	205
暗号キーの変更	209
ステルス機能の設定	213
来客用のWi-Fi設定	216

こどもネットタイマー 2

できること	55
設定	57、114、130
おすすめ設定の編集	121
WEBサイトフィルターの編集	128
ライセンスキーの登録	130

動作モード

モード変更	63
AP(アクセスポイント)に変更	186
子機モード	
(コンバーターモード)に変更	190
中継器モード	
(リピーターモード)に変更	198

各種設定

WAN&LAN設定	95
LAN設定	97
固定DHCP設定	100
WAN設定	108
DDNS	
(ダイナミックDNS)設定	112
LED省電力設定	136
ファイアウォール設定	138
アクセスコントロール設定	140
ポートフォワーディング設定	145
URLフィルタリング設定	149
DMZ設定	153
QoS設定	156
システム設定	159
ステータス	159
ファームウェア更新	165
手動で更新	165
自動で更新	172
設定保存と復元	175
保存	175
復元	177
初期化	179
パスワード設定	181

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線LANブロードバンドルーター 「WRC-1167GHBK-S/WRC-1167GEBK-S」を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11n/11g/ 11b/11a	IEEE802.11ac規格を「11ac」、IEEE802.11n(2.4G/5G)規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」、IEEE802.11a規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11bgn	11n(2.4GHz帯)/11g/11bの略です。
11an/ac	11a/11n(5GHz帯)/11acの略です。
無線LANルーター	無線LANブロードバンドルーターを略して「無線LANルーター」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線LANルーター、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線LAN子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線LAN子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線LAN子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
 注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
 MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

- 本製品は、GNU General Public Licenseに基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めたGNU General Public Licenseの条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用とされますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

安全にお使いいただくために

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用の前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係)への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
	注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		丸に斜線のマークは何か禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
		塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電、火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプターまたは電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプターまたは電源コードを大切に。

ACアダプターまたは電源コードのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。



心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



注 意

-  ACアダプターまたは電源コードのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
-  ACアダプターまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。
-  高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
-  本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
-  ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

- 無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

- ・本製品を分解したり、改造すること
- ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
- ・本製品を日本国外で使用すること
- ・IEEE802.11a/n/acのW52、W53(36～64ch)を屋外で使用する

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

1 製品の保証について

Chapter.1 導入編

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、製品情報に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

P14「2 サポートサービスについて」をお読みください。

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修正依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL:0570-050-060

受付時間:10:00～19:00(年中無休)

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in japan only.

A customer who purchases outside Japan will contact for inquiries the local retailer in the country of purchase.

In “ELECOM CO., LTD. (Japan)”, no customer support is available to inquiries about purchases or usage in/from any other countries than Japan. No foreign languages other than Japanese is also available. Replacement will be made under stipulation of the Elecom warranty, but not available from outside of Japan.

ネットワークサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ・ ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」の2つのマニュアルが付属しています。各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

●「かんたんセットアップガイド」の主な内容

- ・ 本製品をインターネット機器(終端装置)に接続する手順
- ・ Windows/Macパソコン、スマートフォン/タブレット(AndroidまたはiOS)から、本製品およびインターネットへ接続する方法

●「製品情報」の主な内容

- ・ 本製品の各部の名称とはたらき
- ・ 本製品の基本情報
- ・ 工場出荷時における設定値および基本仕様。
- ・ 注意事項
- ・ 保証規定
- ・ サポートサービスのご案内

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には
エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

● ユーザーズマニュアル(本書)の内容について

ユーザーズマニュアルは、基本的に印刷物のマニュアルに記載されていない内容について説明しています。詳しくは「もくじ」および内容をご覧ください。

- ・ スマートフォン/タブレット(AndroidまたはiOS)やパソコンからインターネットへ接続する方法
- ・ 本製品の用途に応じて、「ルーターモード」「AP(アクセスポイント)モード」「子機モード」「中継器モード」の各モードに設定する方法
- ・ 無線LAN子機から本製品へ接続するための設定手順(WPS、PINコード、手動設定)
- ・ こどもネットタイマー2機能の設定方法
- ・ Web版の設定ユーティリティに搭載された機能の詳細な説明

本製品の特長

●最新技術「11ac(IEEE802.11ac)」に対応

次世代の無線LAN規格「IEEE802.11ac規格」に対応し、最大867Mbps(理論値)の無線通信を実現します。

IEEE802.11aや11n(5G)と同じ電波干渉の少ない5GHz帯を使用するため、電波干渉の影響を受けやすい11n/g/b(2.4GHz帯)に比べて、場所を選ばず高速通信が可能になります。

●11n/g/bで同時接続が可能

11n/aおよび11n/g/b規格にも準拠しますので、11ac規格に非対応のスマートフォン、ゲーム機などは、11n/aや11n/g/bで接続して楽しむことができます。パソコンを中心に11ac規格が広まることが予想されますので、11ac規格の無線LAN子機がない場合でも、将来を見据えて気軽に導入できます。

●設定ツール「かんたんセットアップ2」でスマートフォン/Windows/Macからのインターネット接続

PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

● ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN 設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品背面のWPS設定ボタンまたは設定ユーティリティ（詳細設定）画面上の「PCB方式で接続」の「実行」を押すことで、セキュリティー設定を含めた無線LAN接続を簡単に完了できます。

● お子様のインターネット接続を制限できる「こどもネット タイマー2」機能搭載

WEBサイトフィルター[※]で有害サイトからお子様を守り、Wi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。タイマーとスケジュールを同時設定ができますので、お子様のインターネット利用を安心して管理することができます。設定はWi-Fi機器ごとに可能で、たいへん便利です。

※ ライセンスは別売です。本サービスをご利用になる場合は、別途ライセンスをお求めください。

型番:WRC-EX-KNTA1

● 子機モード(コンバーターモード)と中継器モード(リピーターモード)を搭載

本製品を接続することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができる「子機モード(コンバーターモード)」と、本製品を中継器として使用することで、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード(リピーターモード)」を搭載しています。

●LEDランプを消灯できる「LED省電力モード」を搭載

本製品の消費電力を抑える「LED省電力モード」を搭載しました。省電力機能を「有効」にすると、POWER、WPSランプ以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

●Webブラウザーベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、スマートフォンやパソコンのWebブラウザー上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動して行います。Webブラウザーからの解りやすいメニューで操作できます。

●IPv6 Bridge機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。(初期値:無効)

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。また、有害なWebサイトへのアクセスを制限するURLブロック機能などを備えています。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバー機能を搭載

ポート転送(ポートフォワーディング機能)を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバー」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE接続など、IPアドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミックDNS(Skylink DDNS)サーバーへの接続機能を備えていますので、IP アドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP(Universal Plug and Play)に対応しています。Windows MessengerなどのUPnP対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できるDMZ機能も備えています。

●その他、豊富な機能を搭載

- ・ 接続する無線LAN規格を選択可能
- ・ NTP(Network Time Protocol)サーバーを自動検出して時刻を自動設定
- ・ 最新のファームウェアに自動アップデート可能

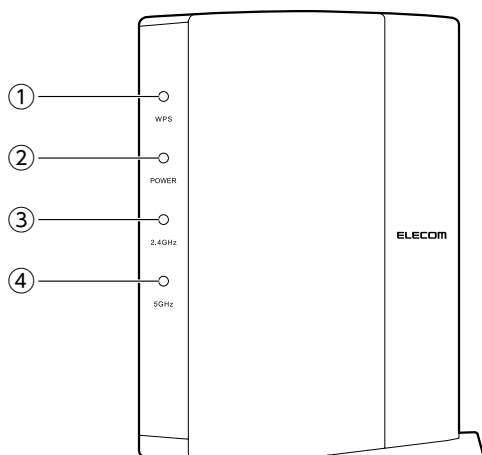
本製品の動作環境

ルーター機能については、TCP/IPプロトコルを利用できるOSであれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

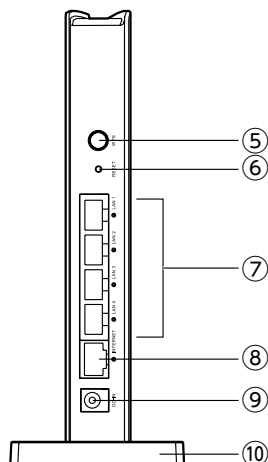
また、Webベースの設定ユーティリティを採用しています。本製品の設定にはWebブラウザより設定ができます。

対応機種 およびOS	Windows 10/8.1/7(SP1以降)/Vista(SP1以降)、 macOS 10.12、Mac OS X 10.11/10.10/10.9/10.8/10.7、 Android 4.0以降、iOS 7.0以降
Webブラウザ	Internet Explorer 5.5 以降、Safari 6.0.3以降

左側面図



番号	名称	はたらき
①	WPSランプ (赤色)	点滅: WPS設定ボタンを押してWPS機能を実行している状態です。 約2分間、0.5秒間隔で点滅します。 消灯: WPS機能を実行していない状態です。
②	POWERランプ (白色)	点灯: 本製品の電源が入った状態です。 消灯: 本製品の電源が切れた状態です。
③	2.4G WLANランプ (白色)	2.4GHz帯(11n/g/b)および5GHz帯(11ac/n/a)の接続状況を表示します。
④	5G WLANランプ (白色)	点灯: 無線LANが有効な状態です。 点滅: 無線LANが通信中です。 消灯: 無線LANが無効な状態です。



番号	名称	はたらき
⑤	WPS設定ボタン	WPS機能搭載の無線子機（無線LANアダプターなど）と接続するときに使用します。 使用するときは、2秒以上押します。
⑥	リセットボタン	このボタンを10秒以上押し続けると、WPSランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます（工場出荷時の状態に戻ります）。WPSランプ点滅中は、電源を切らないでください。
⑦	LANポート/ LANランプ1～4 （白色）	パソコンやネットワーク機器を、有線LANで本製品に接続するためのポートです。 点灯：有線LAN接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
⑧	INTERNETポート/ INTERNETランプ （白色）	各種モデム（ONU、CTUなど）のWAN（インターネット）側機器からのケーブルを接続します。ポートの横には、LEDランプが付いています。 点灯：WAN側機器とのリンクが確立しています。 点滅：データ転送中です。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
⑨	DC IN （電源ジャック）	本製品に付属のACアダプターを接続します。本製品に付属以外のACアダプターを接続しないようにしてください。
⑩	スタンド	スタンドの使用方法については、P25「設置方法と設置時のご注意」をお読みください。

設置方法と設置時のご注意

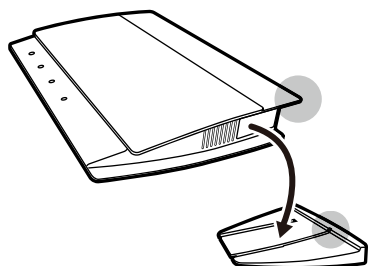
※縦置き／横置きいずれの場合も下記に記載した設置方法を必ず守り、正しくお使いください。

- ・本製品を壁や棚の間にはさみ込まず、風通しの良い場所に設置してください。
- ・モデムや終端装置などのネットワーク機器と重ね置きはしないでください。
- ・スタンドは本体に固定されません。ケーブル類を本体に接続したあと、スタンドに設置してください。
- ・本製品が動作している状態での転落や、ケーブル類の引き抜けは故障・データ消失の原因となるため、本体が安定するように必ず付属のスタンドにセットした上で、転落・引き抜け防止の処置も行ってください。

◆スタンドの使用方法

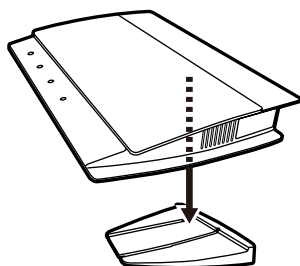
<縦置き時>

- ・LEDランプがある側を前方にします。
- ・イラストを参考に本体の後方が、付属のスタンドの溝にぴったり収まるようにセットします。



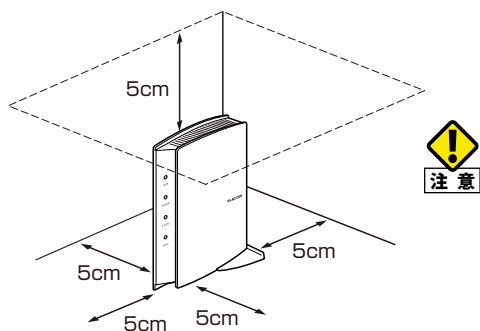
<横置き時>

- ・LEDランプがある側を上面にします。
- ・本体を付属のスタンドの中央後方に載せるように置いて、本体がぐらつかないようにします。



◆本体の設置方法

- ・本製品の上5cm、前後左右5cm以内に、物を置かないでください。
- ・本製品をテレビなど、ノイズの発生する可能性がある機器の近くに設置しないでください。

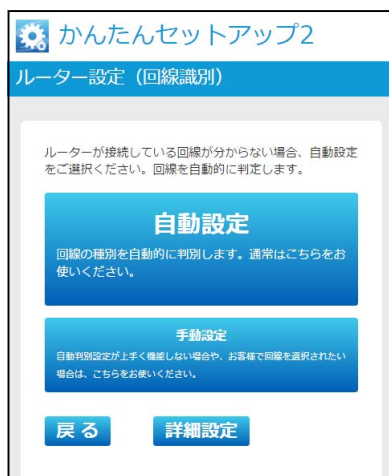


換気が悪くなると本体
に熱がこもり、故障の
原因となります。

かんたんセットアップ2

本製品をインターネットのプロバイダ会社(ISP)から提供されたモデムなどに接続し、ご家庭内や職場などで複数のPCやタブレット、スマートフォンやゲーム機などがインターネットに接続できる「ルーターモード」に簡単に設定することができます。

本製品を初めて設定する場合には、スマートフォンやタブレット、パソコンが本製品と無線接続されると、自動的にWebブラウザが起動し、「かんたんセットアップ2」画面が表示されます。



MEMO

自動で「かんたんセットアップ2」画面が表示されない場合は、下記のURLをWebブラウザのアドレス欄に入力してください。

<http://192.168.2.1/wizard.html>

また、設定ユーティリティ(詳細設定)画面から「かんたんセットアップ2」画面を表示することができます。

設定ユーティリティ(詳細設定)

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティ(詳細設定)のメニュー画面に表示されるボタンの内容を説明します。

各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティ(詳細設定)を表示させるには

下記のURLをWebブラウザのアドレス欄に入力してください。

http://192.168.2.1

※パスワードの設定画面が表示された場合は、パスワードを設定してから、詳細設定の画面に進んでください。



メニュー項目	内容
モード変更	本製品の動作モードを変更するためのメニューです。 ルーターモード、AP (アクセスポイント) モードのほか、本製品を子機として使用する「子機モード (コンバーターモード)」、中継器として使用する「中継器モード (リピーターモード)」に変更できます。
無線設定	無線LANに関するさまざまな設定を行うメニューです。 基本設定 (P67)、暗号化設定 (P71)、WPS設定 (P85)、マルチSSID設定 (P89)、無線出力設定 (P92)があります。
WAN&LAN設定	WANとLANの設定を行うメニューです。 LAN設定 (P96)、固定DHCP設定 (P99)、WAN設定 (P103)、DDNS (ダイナミックDNS) (P110)があります。
こどもネットタイマー2	WEBサイトフィルターで有害サイトからお子様を守るなど、お子様のインターネット利用を安心して管理することができる「こどもネットタイマー2」を設定するメニューです。
LED省電力設定	本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える設定を行うメニューです。 (P136)
ファイアウォール設定	本製品のファイアウォール機能に関する設定を行うメニューです。 アクセスコントロール (P139)、ポートフォワーディング (P143)、URLフィルタリング (P148)、DMZ設定 (P152)があります。
QoS設定	特定のサービスに一定以上の通信速度を確保する「QoS」の設定を行うメニューです。 (P155)
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。 ステータス (P159)、ファームウェア更新 (P165)、設定保存と復元 (P175)、パスワード設定 (P181)があります。
かんたんセットアップ2	本製品の初期設定を行う「かんたんセットアップ2」を起動するメニューです。 (P184)

本製品の使用用途(動作モード)を確認する

本製品は使用用途に応じて、4つの動作モードに変更することができます。

付属の「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行った場合は、「ルーターモード」に設定されます。

モードの変更は、設定ユーティリティ(詳細設定)の「モード変更」で行います。

ルーターモード

本製品をインターネットのプロバイダ会社(ISP)から提供されたモデムなどに接続し、ご家庭内や職場などで複数のPCやタブレット、スマートフォンやゲーム機などがインターネットできるようにするモードです。



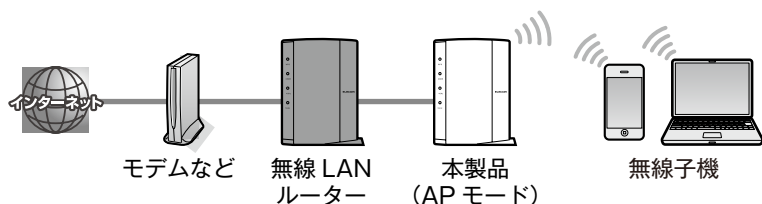
MEMO

ルーターモードに戻るには

他のモードに変更した後、もう一度「ルーターモード」に設定し直すには、本製品を初期化して工場出荷状態に戻してから、再度「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行ってください。

AP(アクセスポイント) モード

ネットワーク内にルーターが別に動作している場合などに、本製品のルーター機能を停止し、無線LANアクセスポイントとしてご利用いただけるモードです。



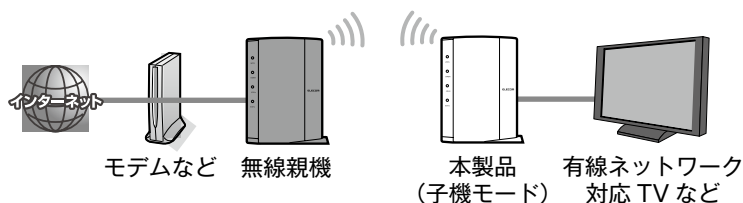
MEMO

AP(アクセスポイント)モードに変更するには

➡P186「1 AP(アクセスポイント)モードで使う」を参照してください。

子機モード

本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品と組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。



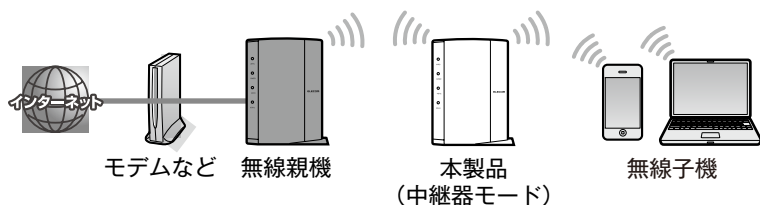
MEMO

子機モードに変更するには

➡P190「2 子機モード(コンバーターモード)で使う」を参照してください。

中継器モード

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広げることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、無線子機と無線接続できるようにします。



MEMO

中継器モードに変更するには

➡P198「3 中継器モード(リピーターモード)で使う」を参照してください。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。すでにルーターを使わずにインターネットに接続できている場合は、①～③についての確認の必要はありません。

① 回線事業者／プロバイダーと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダーとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダーとの契約が必要です。

② 終端装置は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSLなどの終端装置と本製品を接続する必要があります。終端装置を別途購入されるように契約している場合は、対応する終端装置をご用意いただく必要があります。

③ 回線工事は完了していますか？

回線事業者／プロバイダーとの契約に加え、屋内までの配線工事と終端装置の準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④ スマートフォンやパソコンの必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、有線または無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプターや無線LAN子機を準備してください。また、無線で接続する場合は、IEEE802.11ac/11n/11g/11b/11aいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線LAN子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

無線LAN子機から本製品への接続には、本製品に設定したSSIDおよび暗号キーが必要になります。

終端装置のタイプについて

本製品は、ルーター機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルーターです。現在、プロバイダーから提供される終端装置には、すでにルーター機能が内蔵されている製品があります。

本製品専用「かんたんセットアップ2」を使用することで、適切な状態でインターネットに接続することができます。

設定に必要なプロバイダー情報を用意する

「かんたんセットアップ2」は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。

ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダーから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

AP(アクセスポイント)モードで利用する場合には

終端装置に搭載されたルーター機能を使用しているため、本製品の無線LAN機能だけを利用して、本製品をAP(アクセスポイント)モードで利用する場合は、P63「2 動作モードを設定する(モード変更)」、P186「1 AP(アクセスポイント)モードで使う」を参照してください。

プロバイダーの情報について

ご契約のプロバイダーによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダー側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定を行ってください。

設定ユーティリティ(詳細設定)を表示させるには

下記のURLをWebブラウザのアドレス欄に入力してください。

<http://192.168.2.1>

※ パスワードの設定画面が表示された場合は、パスワードを設定してから、詳細設定の画面に進んでください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスのうち「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダーの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。お手元にご用意ください。

※プロバイダーによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダー識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルーター機能が用意されている場合

プロバイダーから提供されている終端装置に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。「かんたんセットアップ2」を使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業を行うことなく自動的に接続します。

C 固定IPアドレスの場合

インターネット側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)が固定で割り当てられるサービスです。あらかじめお手元にIPアドレス等の情報が書かれた資料をご用意ください。

1 セットアップする

Chapter.2 接続編

本製品をブロードバンドモデムなどの終端装置と接続し、「ルーターモード」でインターネット接続できるようにセットアップを行います。

MEMO

AP(アクセスポイント)モードに設定するには

➡P186「1 AP(アクセスポイント)モードで使う」を参照してください。

子機モード(コンバーターモード)に設定するには

➡P190「2 子機モード(コンバーターモード)で使う」を参照してください。

中継器モード(リピーターモード)に設定するには

➡P198「3 中継器モード(リピーターモード)で使う」を参照してください。

パソコン、タブレット端末およびスマートフォンでセットアップする

無線LAN機能のあるWindowsパソコン/Mac OS X、スマートフォン、タブレット端末をセットアップする場合は、同梱の印刷物「かんたんセットアップガイド」を参照してください。

有線LANでパソコンをセットアップする

以下の手順でセットアップしてください。

1 作業前に確認しましょう。

☒ Check.1

- インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。
- プロバイダーからの書類を用意します。

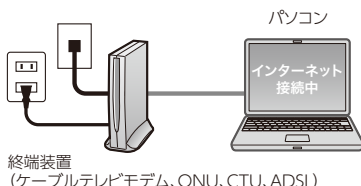
ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザーIDとパスワードを設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダーから提供された書類に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※プロバイダーにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワードなど、名称が異なります。

☒ Check.2

- すでに終端装置とパソコンが接続されている場合

すでにルーターを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



Check.3

●すでに使用中の有線/無線ルーターから「お乗り換え」の場合の確認事項

- ・ご使用中のルーターの設定プログラム(アプリケーション)は、すべて削除します。
- ・ルーターをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされてる場合があります。これらはすべて削除してください。

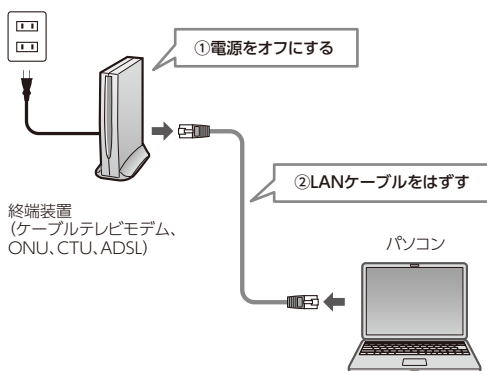
※ ご不明な点がある場合は、お手持ちのルーターのメーカーにお問い合わせください。

2 ご利用中の回線をいったんオフにします。

- ① 終端装置 (ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSL)の電源を切ります。
- ② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。

**ケーブルテレビモデムの場合、
そのまま10分以上おいてください。**

※ 契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。



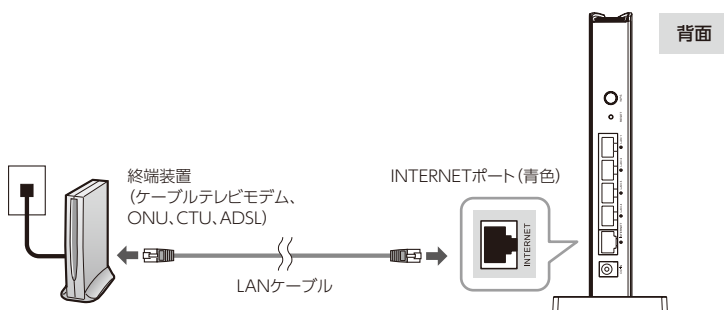


終端装置の電源をいったん切らないと、現在記憶されている設定情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

本製品(ルーター)を接続する

1 機器を接続します。

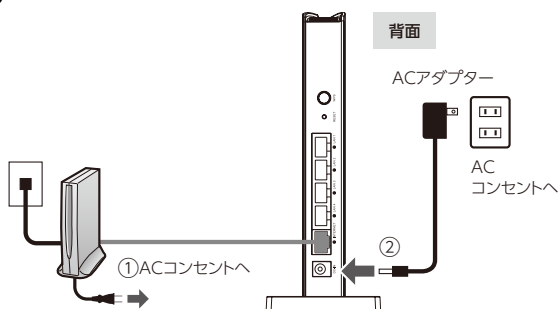
イラストを参考に、各機器を配線します。



- ・ 縦置き／横置きいずれの場合も壁や棚の間にはさみ込まず、風通しの良い場所に設置してください。
- ・ スタンドは本体に固定されません。ケーブル類を本体に接続したあと、スタンドに設置してください。
- ・ モデムや終端装置などのネットワーク機器と重ね置きはしないでください。

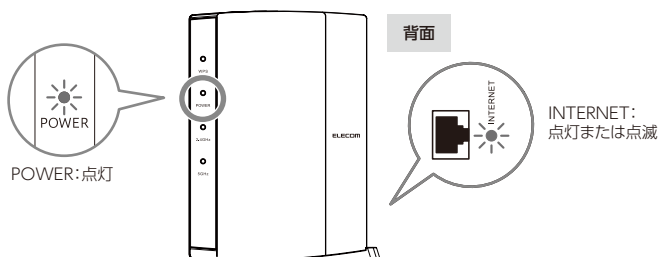
2 終端装置と本製品の電源を入れます。

- ① 終端装置の電源ケーブルを接続します。
電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。
- ② 本製品の付属のACアダプターを接続します。

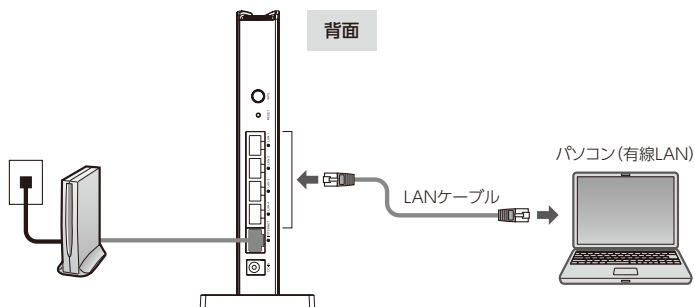


3 ランプの点灯状態を確認します。

モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。



4 パソコンと本製品のLANポート(4つのいずれか)をLANケーブルで接続します。



MEMO

手順 **4** で接続が完了すると、自動的にWebブラウザが起動して、手順 **5** の「かんたんセットアップ2」の画面が表示されますが、自動で表示されない場合は、Webブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://192.168.2.1/wizard.html>」を入力してください。

5 本製品の設定画面にログインするためのパスワードを入力し、[適用]をクリックします。

 **かんたんセットアップ2**

管理用アカウント設定

本製品の管理画面にアクセスするためのログインパスワードを設定してください。

※半角英数字（a～z、0～9）のみで設定してください。

※入力文字数は、パスワード30文字以内です。

※パスワードは、セキュリティの強度を保つために英数混合の8文字以上をおすすめします。

※本ステップで設定されたパスワードを必ずかんたんセットアップシートへ記入してください。

ユーザー名:

新パスワード:

新パスワードの再入力:

適用

※パスワードは初期設定されていませんので、ご自身で「パスワード」を決めて入力してください。設定したパスワードは忘れないように「かんたんセットアップシート（初期値）」にメモして大切に保管してください。

〈例〉

かんたんセットアップシート（初期値）

	SSID(無線名)	暗号化キー(全SSID共通)
2.4GHz	elecom2g-xxxxxx	1a2B3c4D5e6F
5GHz	elecom5g-xxxxxx	

暗号化方式(全SSID共通): WPA2-AES

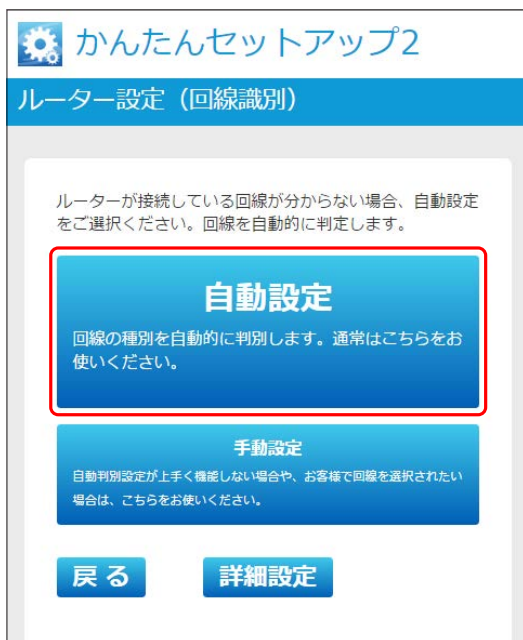
〈 ルーター管理画面アクセス情報 〉

IPアドレス	192.168.2.1	ユーザー名	admin
パスワード (任意設定)	設定後に記入してください。		

〈 ルーターWAN側情報 〉

MACアドレス	12:34:56:AB:CD:EF
---------	--------------------------

6 [自動設定]をクリックします。



※ 自動設定でルーターモードの設定が完了すると、「セットアップ完了」画面が表示されます。

※ 自動設定できないときは、操作 7-A : (PPPoEの場合) または 操作 7-B : (固定IPの場合) の画面が表示される場合があります。表示された画面に従って操作を続けてください。

7 「セットアップ完了」画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。



7-A (PPPoEの場合) 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、 [次へ]をクリックします。

 **かんたんセットアップ2**

プロバイダー情報の設定 (PPPoE)

ご契約のプロバイダー様から提供されているインターネット接続用の認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、「次へ」をクリック(タップ)してください。
ユーザー名には“@”以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名:

パスワード:

入力文字数は、ユーザー名 57文字以内、パスワード 57文字以内です。
ユーザー名及びパスワードには、以下の文字を使用できます。
[半角文字でa～z、A～Z、0～9、スペース、.、_、@、\$、%、&、/、~、+、!、=、]

[戻る](#) [次へ](#)

※ここでは「ユーザー名」と「パスワード」は、ご契約のプロバイダー様から提供されているインターネット接続用の認証ID・認証パスワードを入力します。プロバイダー様により名称が異なる場合があります。



 **かんたんセットアップ2**

セットアップ完了

以上で設定が完了しました。
本ブラウザの画面を閉じて、インターネットをご利用ください。

さらに詳細な設定を行いたい方は、「詳細設定」をクリックしてください。

[詳細設定](#)

上記の画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。

7-B (固定IPの場合)

画面の各項目を入力し、[次へ]をクリックします。

 **かんたんセットアップ2**

プロバイダー情報の設定 (固定IP)

ご契約のプロバイダー様から固定IPアドレスの指定があった場合のみ、プロバイダー様からの情報を下記項目に入力をし、「次へ」をクリックしてください。

固定IPアドレスの指定がない場合にこの画面が表示された方は、ご契約のプロバイダー様にお使いの回線の種類（DHCP / PPPoE / 固定IP）をご確認頂いた上で「戻る」を数度クリック頂き、「ルーター設定（回線識別）」の画面まで戻ってから「手動設定」から「回線選択」の画面より該当する回線の種類を選択して設定を進めてください。

IPアドレス:

デフォルトゲートウェイ:

サブネットマスク:

DNS1:

DNS2(オプション):

戻る

次へ

※ ご契約のプロバイダー様から固定IPアドレスの指定がある場合のみ、プロバイダー様からの情報を各項目に入力してください。



 **かんたんセットアップ2**

セットアップ完了

以上で設定が完了しました。
本ブラウザの画面を閉じて、インターネットをご利用ください。

さらに詳細な設定を行いたい方は、「詳細設定」をクリックしてください。

詳細設定

上記の画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。

無線LAN子機から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線LAN子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。

WPS機能に対応していない無線LAN子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定することで接続することができます。

無線LAN子機がWPS機能に対応していますか？

はい、対応しています。

いいえ、対応していません。

WPS ボタンを装備していますか？※

P54「**手動設定で接続する**」へ
進みます。

はい、装備しています。

いいえ、装備していません。
PINコードに対応しています。

次ページの「WPS ボタンを使って
接続する」へ進みます。

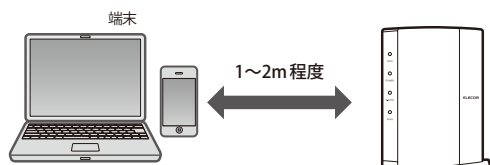
P51「**PINコードを入力して接続する**」
へ進みます。

※WPSボタンについて

WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPSボタンを使って接続する

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。

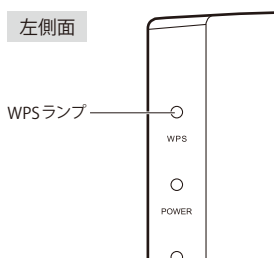
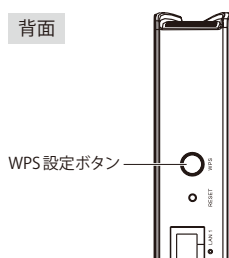


- 2 無線LAN子機の説明書をお読みになり、無線LAN子機側が「WPS」を実行できるように準備します。



※ 弊社無線LANアダプターの設定ユーティリティの画面例

- 3 本製品の背面にある「WPS設定ボタン」を2秒以上押して、離します。



- ・ 左側面にあるWPSランプが赤色に点滅し、WPS対応の無線LAN子機の接続を待つ状態になります。

WPSランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

- ・赤色に点滅しない場合は、再度押してください。
- ・接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎるとWPSランプは消灯します。

4 無線LAN子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- ・本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの [WPS] ボタンをクリックします。
- ・ユーティリティによっては、[PBC] など、表記が異なることがありますので、無線LAN子機の説明書をお読みください。

5 無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品に接続できたことを確認します。

6 Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。

The screenshot shows the ELECOM website with the URL www.elecom.co.jp in the browser address bar. The website header includes the ELECOM logo, navigation links for products, support, compatibility, and downloads, and a search bar. The main content area features a large advertisement for the WRC-1900GHBK-S wireless LAN router. The ad highlights a speed of 1300 + 600 Mbps (11ac 3x4) and includes icons for various features like high-speed stability, long-range signal, fast processing, and gigabit speed. Below the ad, there are links to product catalogs and news releases. The footer of the ad section lists compatible devices like iPhone 7, iPad Pro, and Xperia XZ.

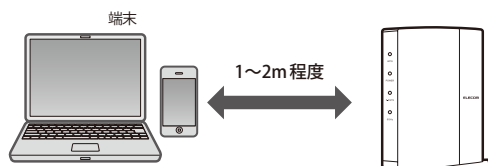
エレコムWebサイト <http://www.elecom.co.jp>

7 これでWPS機能を使った無線LAN子機の設定は完了です。

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。無線LAN子機側に設定されたPINコードを本製品に入力して、WPS機能を実行します。無線親機側のPINコードを使用する場合については、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

- 1 無線で接続する端末を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。
- 3 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://192.168.2.1>」を入力し、設定ユーティリティ(詳細設定)を表示させます。

MEMO

ログイン認証の画面が表示されたら

「かんたんセットアップ2」で設定した、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[ログイン]をクリック(タップ)してください。

4 詳細設定メニューから[無線設定]→[WPS設定](2.4GHz／5GHz)を選択します。



- 5 「無線端末のPINコード入力」に無線LAN子機のPINコードを入力し、[実行]をクリック(タップ)します。**

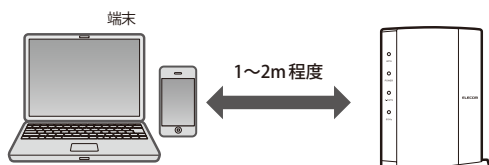


- 6 設定後、無線LAN子機を搭載したパソコンからインターネットにアクセスするなどして、接続できることを確認してください。**

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動で行います。

- 1 無線で接続する端末を、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2 無線LAN子機の設定ユーティリティを起動します。

- ・ OS標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

- 3 設定ユーティリティのリスト上に表示されたSSIDの中から、本製品のSSIDを選択して、パスワードを入力します。

〈例〉

かんたんセットアップシート (初期値)			
	SSID (無線名)	暗号化キー (全SSID共通)	
2.4GHz	elecom2g-xxxxxx	1a2B3c4D5e6F	
5GHz	elecom5g-xxxxxx		
暗号化方式 (全SSID共通): WPA2-AES			
〈 ルーター管理画面アクセス情報 〉			
IPアドレス	192.168.2.1	ユーザー名	admin
パスワード (任意設定)	設定後に記入してください。		
〈 ルーターWAN側情報 〉			
MACアドレス	12:34:56:AB:CD:EF		

- 4 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

「こどもネットタイマー2」機能の特長および各種設定方法について説明します。

こどもネットタイマー2でできること

「こどもネットタイマー2」は、接続されたWi-Fi機器に対して、有害WEBサイトの閲覧を制限したり、タイマー設定することでWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができます。お子様の有害なサイトへのアクセスをブロックしたい場合や、Wi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合などにお勧めです。

- ・あらかじめ設定された「おすすめ設定」を選択するだけで、手軽に有害サイトへの閲覧制限や利用時間の設定が可能です。
- ・接続時間の制限方法は、1日の決められた時間帯のみ接続を許可する「スケジュール設定」と、1日あたりのWi-Fi接続時間の上限を設定できる「タイマー設定」の2種類があります。
- ・タイマーとスケジュールを同時に設定することができ、「何曜日の何時から何時まで2時間」「月・水・金曜日に2時間」など、きめ細かく設定することができます。
- ・機器ごとに接続制限設定が可能です。時間外または累計時間が超過した時点でWi-Fi接続ができなくなります。
※ 接続する機器によっては、制限された時間を超えてもWi-Fi接続が切断されない場合がありますが、この場合でもインターネットへの接続はできなくなります。
- ・Wi-Fiゲーム機をはじめスマートフォンやタブレット、パソコンなどのWi-Fi機器にも設定できます。

- APモード／中継器モード／子機モード時はご利用になれません。
- クライアントとの通信環境が悪い場合、正常に接続制限機能が作動しないことがあります。
- ライセンスは別売です。本サービスをお求めになる場合は、別途ライセンスをお求めください。
(型番:WRC-EX-KNTA1)



注意

ニンテンドーDS Liteなど、暗号機能が「WEP」にしか対応していない機器を接続される場合は、マルチSSIDの設定を行い、接続するSSIDの暗号機能の設定を、あらかじめ「WPA2-AES」から「WEP」に変更してください。(➡P71「暗号化設定」)

こどもネットタイマー2を設定する

本製品には、あらかじめ用意された「おすすめ設定」を設定する手順を説明します。

「おすすめ設定」は、6段階レベルの設定を準備しています。

- ・ Level1:小学生低学年向け(設定内容は👉P122)
- ・ Level2:小学生高学年向け(設定内容は👉P123)
- ・ Level3:中学生向け(設定内容は👉P124)
- ・ Level4:高校生向け(設定内容は👉P125)
- ・ Level5:WEB初心者向け(設定内容は👉P126)
- ・ 制限なし:Web上級者向け(設定内容は👉P127)

※初期設定では「制限なし」に設定されています。

MEMO

「おすすめ設定」の設定内容を変更するには

「おすすめ設定」の設定内容は、ユーザーに合わせてきめ細かく設定できます。新しい「おすすめ設定」を作ることできます。(👉P120)

タイマー・スケジュールを設定するには

1日に利用できる時間を制限したり、利用できる時間帯を設定することができます。(👉P117)

- 1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力し、設定ユーティリティ(詳細設定)を表示させます。

MEMO

ログイン認証の画面が表示されたら

「かんたんセットアップ2」で設定した、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[ログイン]をクリック(タップ)してください。

- 2 詳細設定メニューから[こどもネットタイマー2]→[機器一覧]を選択します。



3 設定する機器の[編集]をクリック(タップ)します。



編集	機器名称	MACアドレス	おすすめの設定	WEBサイト フィルター	機器情報	タイマー	スケジュール	繰り返し
編集	c8855019a506	c8-85-50-19-a5-06	制限なし	無効	無効	無効	無効	無効
編集	ac220b9f1385	ac-22-0b-9f-13-85	制限なし	無効	無効	無効	無効	無効
編集	dc7b02596494	dc-7b-02-59-64-94	制限なし	無効	無効	無効	無効	無効
編集	1c9e460c5969	1c-9e-46-0c-59-69	制限なし	無効	無効	無効	無効	無効

戻る

※「こどもネットタイマー2」が設定可能な無線LAN子機が一覧表示されます。

4 「おすすめ設定」をプルダウンメニューから選択し、[適用]をクリック(タップ)します。



機器名称: c8855019a506

おすすめ設定: **Level1**

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 小学生延学車向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効 ☐ 無効
2 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効 ☐ 無効
16 時 0 分から
18 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☐ 土 ☐ 日

適用 キャンセル

戻る

5 「設定の変更が成功しました」画面が表示されたら、設定完了です。



MEMO

設定を終了するには

設定ユーティリティ(詳細設定)画面を閉じるか、Webブラウザを終了してください。

続けて他の機器も設定するには

[OK]をクリック(タップ)すると、手順**4**の画面が表示されます。[戻る]をクリック(タップ)して、手順**3**の画面に戻り、他の機器の設定を行ってください。

1

設定ユーティリティ（詳細設定）
画面について

Chapter.3 詳細設定編

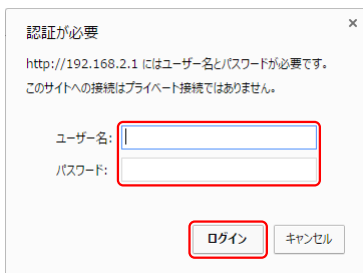
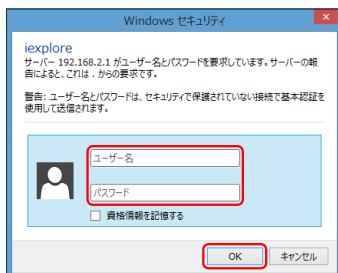
設定ユーティリティ（詳細設定）画面を表示する

1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に
下記のURLを入力します。

- 初期設定が完了している場合：
「http://192.168.2.1」
- 初期設定が完了していない場合：
「http://192.168.2.1/details.html」

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]
または[ログイン]をクリックします。

- ※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。
- ※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



設定ユーティリティ(詳細設定)画面の内容

設定ユーティリティ(詳細設定)画面にある各メニューの概要を説明します。



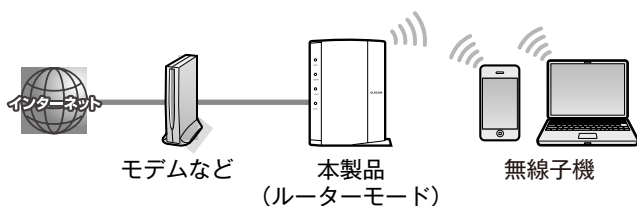
メニュー項目	内容
モード変更	本製品の動作モードを変更するためのメニューです。 ルーターモード、AP(アクセスポイント)モードのほか、本製品を子機として使用する「子機モード(コンバーターモード)」、中継器として使用する「中継器モード(リピーターモード)」に変更できます。
無線設定	無線LANに関するさまざまな設定を行うメニューです。 基本設定(➡P67)、暗号化設定(➡P71)、WPS設定(➡P85)、マルチSSID設定(➡P89)、無線出力設定(➡P92)があります。
WAN&LAN設定	WANとLANの設定を行うメニューです。 LAN設定(➡P96)、固定DHCP設定(➡P99)、WAN設定(➡P103)、DDNS(ダイナミックDNS)(➡P110)があります。
こどもネットタイマー2	WEBサイトフィルターで有害サイトからお子様を守るなど、お子様のインターネット利用を安心して管理することができる「こどもネットタイマー2」を設定するメニューです。
LED省電力設定	本製品のLEDランプを消灯して消費電力を抑える設定を行うメニューです。(➡P136)
ファイアウォール設定	本製品のファイアウォール機能に関する設定を行うメニューです。 アクセスコントロール(➡P139)、ポートフォワーディング(➡P143)、URLフィルタリング(➡P148)、DMZ設定(➡P152)があります。
QoS設定	特定のサービスに一定以上の通信速度を確保する「QoS」の設定を行うメニューです。(➡P155)
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。 ステータス(➡P159)、ファームウェア更新(➡P165)、設定保存と復元(➡P175)、パスワード設定(➡P181)があります。
かんたんセットアップ2	本製品の初期設定を行う「かんたんセットアップ2」を起動するメニューです。(➡P184)

本製品は使用目的に応じて、4つの動作モードに変更することができます。

付属の「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行った場合の「ルーターモード」のほか、本製品をアクセスポイントとして使用する「AP(アクセスポイント)モード」、無線LAN子機として使用する「子機モード(コンバーターモード)」、中継器として使用する「中継器モード(リピーターモード)」に変更することができます。

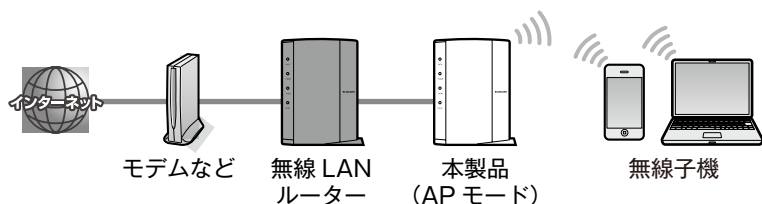
ルーターモード

本製品をインターネットのプロバイダ会社(ISP)から提供されたモデムなどに接続し、ご家庭内や職場などで複数のPCやタブレット、スマートフォンやゲーム機などがインターネットできるようにするモードです。



AP(アクセスポイント) モード

ネットワーク内にルーターが別に動作している場合などに、本製品のルーター機能を停止し、無線LANアクセスポイントとしてご利用いただけるモードです。



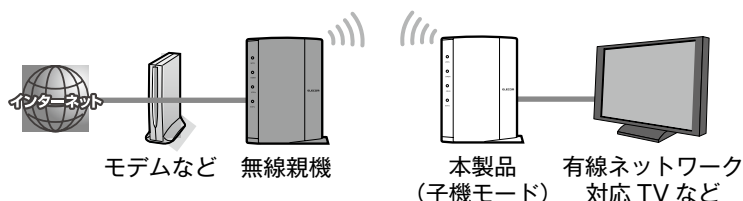
MEMO

AP(アクセスポイント)モードに変更するには

➡P186「1 AP(アクセスポイント)モードで使う」を参照してください。

子機モード

本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品と組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。



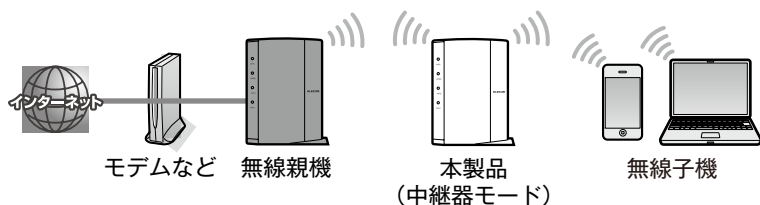
MEMO

子機モードに変更するには

➡P190「2 子機モード(コンバーターモード)で使う」を参照してください。

中継器モード

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広げることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。



MEMO

中継器モードに変更するには

👉P198「3 中継器モード(リピーターモード)で使う」を参照してください。

本製品の無線LAN機能を設定します。

無線設定

無線設定画面

2.4GHz帯(11n/g/b)と5GHz帯(11a/n/ac)の設定ができます。



基本設定	無線機能の有効／無効などの無線LANの基本設定を行います。(☛P67)
暗号化設定	暗号化など、無線LANのセキュリティの設定を行います。(☛P71)
WPS設定	WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能の設定を行います。(☛P85)
マルチSSID	マルチSSID、ゲストSSIDの設定を行います。(☛P89)
無線出力設定	送信ビームフォーミングやひかりTV、無線LAN出力の設定を行います。(☛P92)

基本設定

基本設定画面

●2.4GHz帯(11n/g/bの場合)



基本設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

2.4GHz 無線機能: ☒ 有効 ☐ 無効

2.4GHz SSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

適用

戻る

2.4GHz 無線機能	2.4GHz帯の無線機能の有効／無効を設定します。 (初期値:有効)
2.4GHz SSID	2.4GHz帯の無線LANで使用するSSIDを入力します。
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 20/40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらないことがあります。(初期値:Auto 20/40MHz)
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1～13Chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上の間隔を空けてください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。(例)1ch/6ch/11ch (初期値:Auto)
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品のSSIDを確認することができます。「有効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値:無効)

●5GHz帯(11a/n/acの場合)


基本設定 (5GHz)


Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

5GHz 無線機能: ☒ 有効 ☐ 無効

5GHz SSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

5GHz 無線機能	5GHz帯の無線機能の有効／無効を設定します。 (初期値:有効)
5GHz SSID	5GHz帯の無線LANで使用するSSIDを入力します。
チャンネル幅	11ac規格でのチャンネル幅を設定します。11ac対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 80/20/40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらないことがあります。(初期値:Auto 80/20/40MHz)
チャンネル	以下から使用するチャンネルを選択します。 Auto、ch36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128 Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。 (初期値:Auto)
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品のSSIDを確認することができます。「有効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値:無効)

MEMO

W52(36/40/44/48チャンネル)およびW53(52/56/60/64チャンネル)は、電波法により屋外で使用する事が禁止されています。

基本設定を行う

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

- 1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 2 無線設定メニューから[基本設定]を選択します。



3

無線機能の有効／無効を設定します。

基本設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

2.4GHz 無線機能: ☒ 有効 ☐ 無効

2.4GHz SSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

適用

戻る

4

SSID、チャンネル幅、チャンネル、SSIDステルス機能を設定し、[適用]をクリックします。

基本設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

2.4GHz 無線機能: ☒ 有効 ☐ 無効

2.4GHz SSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

適用

戻る

暗号化設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)

無線LANで使用するデータの暗号化など、セキュリティの設定方法について説明します。

暗号化設定画面

● 認証方式で「WPA Pre-Shared Key」を選択した場合

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択:

認証方式:

暗号化:

キーの種類:

暗号キー:

☐ パスワードの表示

SSIDの選択	暗号化設定するSSIDを選択します。
認証方式	認証方式を選択します。
暗号化	暗号化方式を選択します。(WPA2 AES／WPA TKIP／WPA2 Mixed)
キーの種類	キーの種類を選択します。(パスフレーズ(8～63文字)／HEX(64))
暗号キー	暗号キーを入力します。
パスワードの表示	チェックするとパスワードを表示します。通常は伏せ字になっています。

● 認証方式で「WEP」を選択した場合

 暗号化設定 (2.4GHz) 

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択:

認証方式:

キー長:

キーフォーマット:

暗号キー1:

☐ パスワードの表示

SSIDの選択	暗号化設定するSSIDを選択します。
認証方式	認証方式を選択します。
キー長	キー長を選択します。
キーフォーマット	キーフォーマットを選択します。
暗号キー1	暗号キーを入力します。
パスワードの表示	チェックするとパスワードを表示します。通常は伏せ字になっています。

● 認証方式で「なし」を選択した場合



SSIDの選択	暗号化設定するSSIDを選択します。
認証方式	認証方式を選択します。



注意

通常は認証方式を「なし」に設定しないでください。
悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。

暗号化設定を行う

● 認証方式「WPA Pre-Shared Key」で設定する(推奨)

WPA Pre-Shared Key (WPA-PSK:WPAプレシェードキー)を使ってセキュリティ設定をします。WPA Pre-Shared Keyは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることができません。

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



2 無線設定メニューから[暗号化設定]を選択します。



3 「SSIDの選択」で暗号化設定するSSIDを選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: **elecom2g-XXXXXX**

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号化: WPA2 AES

キーの種類: パスフレーズ(8~63 文字)

暗号キー:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

4 「認証方式」で「WPA Pre-Shared Key」を選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: **WPA Pre-Shared Key**

暗号化: WPA TKIP

キーの種類: パスフレーズ(8~63 文字)

暗号キー:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

5 「暗号化」で暗号化の種別を選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX ▼

認証方式: WPA Pre-Shared Key ▼

暗号化: **WPA2 AES ▼**

キーの種類: パスワード (8~63 文字) ▼

暗号キー:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

MEMO

ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。本製品はWPA-PSKの場合は「TKIP」のみになります。

WPA2 AES	WPA2-PSKのうち暗号化形式に「AES」を使用します。
WPA TKIP	WPA-PSKのうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSKについては「AES」を選択できません。
WPA2 Mixed	無線子機にWPA-PSK (「AES」または「TKIP」)とWPA2-PSKが混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK(TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

6 「キーの種類」で暗号化キーの入力形式を選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX ▼

認証方式: WPA Pre-Shared Key ▼

暗号化: WPA2 AES ▼

キーの種類: **パスフレーズ(8~63 文字) ▼**

暗号キー:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

パスフレーズ (8~63文字)	半角英数字(8~63文字)が使用できます。
HEX(64)	16進数64文字(固定)を使用できます。 ※ 16進数とは、半角英数字の0~9、a~fを組み合わせた文字列です。

7 「暗号キー」に、手順 6 で選択した入力形式で暗号キーを入力し、[適用]をクリックします。

※ 「パスワードの表示」をチェックすると入力した文字列を表示できます。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX ▼

認証方式: WPA Pre-Shared Key ▼

暗号化: WPA2 AES ▼

キーの種類: パスフレーズ(8~63 文字) ▼

暗号キー: **Aa0123456789**

☒ パスワードの表示

適用

戻る

8 「設定の変更が成功しました」が表示されます。



- 他の設定を続ける場合は[後で再起動する]をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合は、[再起動]をクリックし、手順 9 へ進みます。

9 詳細設定画面が表示されたら、暗号化設定は終了です。無線LAN子機側にも同じ設定を行ってください。

※ 無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

● 認証方式「WEP」で設定する

WEPを使ってセキュリティー設定をします。

ニンテンドーDS LiteなどWEPにしか対応していない機器を接続する場合の設定です。



本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることができません。

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択する



- 2 無線設定メニューから[暗号化設定]を選択します。



- 3 「SSIDの選択」で暗号化設定するSSIDを選択します。



4

「認証方式」で「WEP」を選択します。



暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX ▼

認証方式: WEP ▼

キー長: 64bit ▼

キーフォーマット: ASCII (5 文字) ▼

暗号キー1:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

5

「キー長」でbit数を選択します。通常は128bitを選択します。



暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX ▼

認証方式: WEP ▼

キー長: 128bit ▼

キーフォーマット: ASCII (13 文字) ▼

暗号キー1:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

6 「キーフォーマット」で暗号化キーの入力形式を選択します。

ASCII(5文字)	キー長で64bitを選択した場合です。「暗号キー」に半角英数字5文字を入力します。
ASCII(13文字)	キー長で128bitを選択した場合です。「暗号キー」に半角英数字13文字を入力します。
Hex(10文字)	キー長で64bitを選択した場合です。「暗号キー」に16進数10文字を入力します。
Hex(26文字)	キー長で128bitを選択した場合です。「暗号キー」に16進数26文字を入力します。

※16進数とは、半角英数字の0～9、a～fを組み合わせた文字列です。

7 「暗号キー1」に、手順 6 で選択した入力形式で暗号キーを入力し、[適用]をクリックします。

※「パスワードの表示」をチェックすると入力した文字列を表示できます。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: WEP

キー長: 128bit

キーフォーマット: ASCII (13 文字)

暗号キー1: abc0123456789

☒ パスワードの表示

適用

戻る

8 「設定の変更が成功しました」が表示されます。

設定の変更が成功しました

設定は保存されています。今すぐ有効にするには、ルーターを再起動してください。

他の設定を変更し、後から再起動することもあります。

再起動 後で再起動する

戻る

- 他の設定を続ける場合は[後で再起動する]をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合は、[再起動]をクリックし、手順 9 へ進みます。

9 詳細設定画面が表示されたら、暗号化設定は終了です。無線LAN子機側にも同じ設定を行ってください。

※無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

WPS設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)

WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能の設定を行います。

※ マルチSSIDで追加したSSIDはWPS機能を利用した接続には対応しておりません。

WPS設定画面

WPS設定 (2.4GHz)

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

2.4GHz WPS設定: ☒ 有効 ☐ 無効

本製品のPINコード: 27324707

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

2.4GHz WPS設定 5GHz WPS設定※	WPS機能の有効／無効を設定します。(初期値:有効)
本製品のPINコード	本製品のPINコードを表示します。
PBC方式で接続	[実行]をクリックすると、WPS機能が実行されます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」と押すのと同じことです。
無線端末のPINコード 入力	本製品側で無線LAN子機のPINコードに合わせる場合に、無線LAN子機側のPINコードを入力し、[実行]をクリックします。

WPS設定を行う

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

- 1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 2 無線設定メニューから[WPS設定]を選択します。



3 WPS設定の有効／無効を設定します。

WPS設定 (2.4GHz)

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

2.4GHz WPS設定: ☒ 有効 ☐ 無効

本製品のPINコード: 27324707

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

<PBC方式で接続する場合>

4-1 [実行]をクリックします。

WPS設定 (2.4GHz)

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

2.4GHz WPS設定: ☒ 有効 ☐ 無効

本製品のPINコード: 27324707

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

<無線端末のPINコードを入力する場合>

4-2 無線LAN子機側のPINコードを入力し、 [実行]をクリックします。

The screenshot shows the 'WPS設定 (2.4GHz)' screen. At the top, it says 'WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。' Below this, the '2.4GHz WPS設定:' section has radio buttons for '有効' (selected) and '無効'. The '本製品のPINコード:' is listed as '27324707'. Under 'PBC方式で接続:', there is a button labeled '実行'. The '無線端末のPINコード入力:' section has a text input field and a button labeled '実行', both of which are highlighted with a red rectangle. At the bottom left is a blue button labeled '適用', and at the bottom right is a blue button labeled '戻る'.

5 [適用]をクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, showing the 'WPS設定 (2.4GHz)' screen. In this step, the '適用' button at the bottom left is highlighted with a red rectangle, indicating it should be clicked. The '無線端末のPINコード入力:' section remains unchanged.

マルチSSID(2.4GHz帯・5GHz帯共通)

マルチSSID、ゲストSSIDの設定を行います。

マルチSSID画面

2.4GHzマルチSSID 5GHzマルチSSID	「使用します」をチェックすると、使用可能になります。
2.4GHzマルチSSID 5GHzマルチSSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値:無効)
2.4GHzゲストSSID 5GHzゲストSSID	「使用します」をチェックすると、使用可能になります。
2.4GHzゲストSSID 5GHzゲストSSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値:無効)

マルチSSIDの設定を行う

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

- 1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 2 無線設定メニューから[マルチSSID]を選択します。



3 マルチSSID／ゲストSSIDの「使用します」をチェックします。

マルチSSID (2.4GHz)

2.4GHzのマルチSSID、ゲストSSIDの設定を行います。

2.4GHz マルチSSID: ☒ 使用します

2.4GHz マルチSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

2.4GHz ゲストSSID: ☒ 使用します

2.4GHz ゲストSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

4 マルチSSID／ゲストSSIDを入力し、SSIDステルス機能の有効／無効を設定して、[適用]をクリックします。

マルチSSID (2.4GHz)

2.4GHzのマルチSSID、ゲストSSIDの設定を行います。

2.4GHz マルチSSID: ☒ 使用します

2.4GHz マルチSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

2.4GHz ゲストSSID: ☒ 使用します

2.4GHz ゲストSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

無線出力設定(2.4GHz帯・5GHz帯共通)

送信ビームフォーミング、ひかりTVモード、無線LAN出力の設定を行います。

無線出力設定画面



無線出力設定 (2.4GHz)

送信ビームフォーミング: ☒ 有効 ☐ 無効

ひかりTVモード: ☒ 有効 ☐ 無効

無線LAN出力: 15 35 50 70 100%

適用

戻る

送信ビームフォーミング	送信ビームフォーミングの有効／無効を設定します。 (初期値:有効)
ひかりTVモード	ひかりTVモードの有効／無効を設定します。 (初期値:有効)
無線LAN出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境に合わせて強度を設定します。 (初期値:100%)

無線出力設定を行う

※ 操作例は2.4GHz帯の設定です。

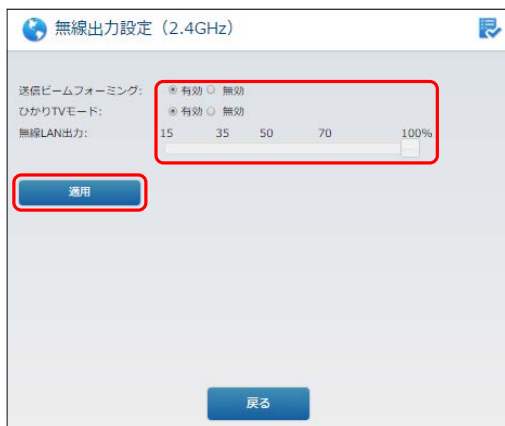
- 1 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 2 無線設定メニューから[無線出力設定]を選択します。



- 3** 送信ビームフォーミング、ひかりTVモード、無線LAN出力を設定し、[適用]をクリックします。



有線のLANポートおよびWAN(インターネット)側のINTERNETポートに関する設定を行います。

WAN&LAN設定画面



LAN設定	LAN設定を行います。(☞P96)
固定DHCP設定	固定DHCP設定を行います。(☞P99)
WAN設定	WAN設定を行います。(☞P103)
DDNS	DDNS(ダイナミックDNS)設定を行います。(☞P110)

LAN設定

本製品のLAN(ローカルネットワーク)側のIPアドレス情報などを設定します。

LAN設定画面

IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP範囲	DHCPサーバーがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。 [接続端末の表示]をクリックすると、DHCPで接続中の端末の一覧が表示されます。
DHCPリース時間	DHCPサーバーによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。1～72時間までの範囲で設定できます。初期値は8時間です。指定時間を過ぎるとDHCPサーバーよりIPアドレスを再取得します。

- 1 詳細設定メニューから[WAN&LAN設定]を選択します。



- 2 WAN&LAN設定メニューから[LAN設定]を選択します。



3 各項目を入力し、[適用]をクリックします。

 LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCP範囲: ~ [接続端末の表示](#)

DHCPリース時間: (1 ~ 10080 minutes)

[適用](#)

[戻る](#)

固定DHCP設定

クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連づけて登録することができます。

最大20件まで設定できます。

固定DHCP設定画面

固定DHCPの有効	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。 (例:192.168.2.100)
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例:0090fe0123ab)
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(最大20文字)

- 1 詳細設定メニューの[WAN&LAN設定]を選択します。



- 2 WAN&LAN設定メニューから[固定DHCP設定]を選択します。



3 「固定DHCPの有効」をチェックします。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 20 です。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

追加

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
--------	---------	------	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

4 IPアドレス、MACアドレス、コメントを入力し、[追加]をクリックします。

※ コメントは、機器を機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(最大20文字)

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 20 です。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

追加

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
--------	---------	------	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

5 追加した機器が固定DHCPリストに表示されます。設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 20 です。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

追加

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
192.168.2.100	00:90:fe:01:23:ab	android	☐

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

MEMO

設定する機器が複数ある場合には
手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

固定DHCPリストに設定した機器を削除するには
固定DHCPリストの削除したい機器の「選択」をチェッ
クし、[選択して削除]をクリックします。リストに表示
されているすべての機器を削除するときは[全てを削
除]をクリックします。最後に[適用]をクリックして設
定を反映させます。

WAN設定

本製品のWAN(インターネット)側を設定します。「WANアクセスタイプ」でDHCP/PPPoE/固定IPのいずれかを選択するかで、設定画面が異なります。

WAN設定画面

●「DHCP」を選択した場合(初期値)

The screenshot shows the 'WAN設定' (WAN Settings) window. At the top, it says '本製品のWAN設定を行います。 WANアクセスタイプ: DHCP' (Configure the WAN of this product. WAN Access Type: DHCP). Below this are several input fields: 'ホスト名' (Host Name) with a text box and '(最大 30 文字、半角英数字)' (Maximum 30 characters, alphanumeric); 'MTUサイズ' (MTU Size) with a text box containing '1500' and '(1400-1500 バイト)' (1400-1500 bytes); a radio button selection for 'DNSサーバのアドレスを自動的に取得する' (Obtain DNS server addresses automatically) which is selected, and '次のDNSサーバを使用する' (Use the following DNS server); 'DNS 1' and 'DNS 2' text boxes with '(記入例: 192.168.5.44)' and '(記入例: 192.168.5.43)' respectively; a 'MACアドレスコピー' (MAC Address Copy) section with '手動追加' (Manual Add) and 'コピー' (Copy) buttons, and a note '(接続中のPCからMACアドレスをコピー)' (Copy MAC address from connected PC); and a list of checkboxes for 'UPnPを有効にする。' (Enable UPnP), 'WAN側からのpingに対する応答を有効にする。' (Enable response to ping from WAN side), 'IPv6 ブリッジを有効にする。' (Enable IPv6 bridge), and 'HW NATを有効にする。' (Enable HW NAT), with the last one checked. At the bottom are '適用' (Apply) and '戻る' (Back) buttons.

ホスト名	ルーターのホスト名を設定することができます。(半角英数字で最大30文字)
MTUサイズ	MTU(Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位バイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1500バイト)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	プロバイダーより自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバを使用する	プロバイダーからDNSサーバーを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2個の場合は「DNS1」と「DNS2」にアドレスを入力します。
DNS1	プロバイダーからDNSアドレスの指示が1個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーからDNSアドレスの指示が2個の場合は、プライマリのDNSアドレスを入力します。

DNS2	プロバイダーからDNSアドレスの指示が2個の場合は、セカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	WAN (インターネット)側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使します。 初期値では、接続中のパソコンのMACアドレスが表示されています。 [手動追加]をクリックすると、手動でMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例:0090fe0123ab) [コピー]をクリックすると、接続中のパソコンのMACアドレスが入力されます。
UPnPを有効にする	UPnP(Universal Plug and Play)機能の有効／無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値:無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN(インターネット)側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値:無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする[IPv6ブリッジ]機能を有効／無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値:無効)
HW NATを有効にする	ソフトウェアでの通信処理に比べ、ハードウェアで通信処理を行うことにより、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどのWi-Fi接続に最適です。(初期値:有効)

●「固定IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。 WANアクセスタイプ: **固定IP**

固定IP:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

MTUサイズ: (1400-1500/バイト)

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

MACアドレスコピー: (接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☐ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
☐ IPv6ブリッジを有効にする。
☒ HW NATを有効にする。

固定IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTUサイズ	MTU(Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位バイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1500バイト)
DNS1	プロバイダーからDNSアドレスの指示が1個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーからDNSアドレスの指示が2個の場合は、プライマリのDNSアドレスを入力します。
DNS2	プロバイダーからDNSアドレスの指示が2個の場合は、セカンダリのDNSアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	WAN (インターネット)側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使います。 初期値では、接続中のパソコンのMACアドレスが表示されています。 [手動追加]をクリックすると、手動でMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例:0090fe0123ab) [コピー]をクリックすると、接続中のパソコンのMACアドレスが入力されます。

UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play)機能の有効／無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値:無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット)側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値:無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能を有効／無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値:無効)
HW NATを有効にする	ソフトウェアでの通信処理に比べ、ハードウェアで通信処理を行うことにより、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどのWi-Fi接続に最適です。(初期値:有効)

●「PPPoE」を選択した場合

ユーザー名	プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。 (最大57文字) ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123@elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード設定	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。 (最大57文字) 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力したパスワードを表示できます。無効の場合は、「……」で表示されます。(初期値:無効)
MTUサイズ	MTU(Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位バイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値:1454バイト)
UPnPを有効にする	UPnP(Universal Plug and Play)機能の有効／無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値:無効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN(インターネット)側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値:無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能を有効／無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値:無効)
HW NATを有効にする	ソフトウェアでの通信処理に比べ、ハードウェアで通信処理を行うことにより、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどのWi-Fi接続に最適です。(初期値:有効)

- 1 詳細設定メニューの[WAN&LAN設定]を選択します。



- 2 WAN&LAN設定メニューから[WAN設定]を選択します。



3 WANアクセスタイプを選択します。

※画面例は「固定IP」を選択した場合です。

The screenshot shows the 'WAN設定' (WAN Settings) screen. At the top, it says '本製品のWAN設定を行います。 WANアクセスタイプ: 固定IP'. Below this, there are several input fields: '固定IP:', 'サブネットマスク:', 'デフォルトゲートウェイ:', 'MTUサイズ:' (set to 1500), 'DNS 1:', 'DNS 2:', and 'MACアドレスコピー:'. There are also checkboxes for 'UPnPを有効にする.', 'WAN側からのpingに対する応答を有効にする.', 'IPv6 ブリッジを有効にする.', and 'HW NATを有効にする.' (checked). At the bottom, there are two buttons: '適用' (Apply) and '戻る' (Back).

4 各項目を設定し、[適用]をクリックします。

※各項目に関しては、手順3で選択したWANアクセスタイプにより異なります。

- ・固定IP:→「固定IP」を選択した場合を参照してください。
- ・DHCP:→「DHCP」を選択した場合を参照してください。
- ・PPPoE:→「PPPoE」を選択した場合を参照してください。

※画面例は「固定IP」を選択した場合です。

The screenshot shows the 'WAN設定' (WAN Settings) screen with values entered in the input fields. The 'WANアクセスタイプ' is still '固定IP'. The '固定IP' field contains '192.168.1.220', 'サブネットマスク' contains '255.255.255.0', 'デフォルトゲートウェイ' contains '192.168.1.221', 'MTUサイズ' is '1500', 'DNS 1' is '129.168.5.44', and 'DNS 2' is '192.168.5.43'. The 'MACアドレスコピー' section has '0025ab2f7337' entered. The checkboxes are the same as in the previous screenshot. The '適用' (Apply) button is highlighted with a red box.

DDNS設定

DDNS(ダイナミックDNS)を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNSはサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください。

DDNSサイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

DDNSサービスを利用するにあたって

他社DDNSサービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。

- SkyLink DDNSとは、対象のエレコムまたはロジテック製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。SkyLink DDNSへの登録については、下記URLで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。

<http://www.clear-net.jp/>

- DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的に行われるほか、手動で更新する場合があります。更新時期などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。

DDNS: ☐ 有効 ☒ 無効

サービスプロバイダ: DynDNS

ドメイン名: host.dyndns.org

ユーザ名ID:

パスワード:

適用

戻る

DDNS	ダイナミックDNS機能の有効／無効を設定します。 (初期値:無効)
サービスプロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザ名ID	登録したアカウントを入力します。DDNSサービスによってはアカウントがEメールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

- 1 詳細設定メニューの[WAN&LAN設定]を選択します。



- 2 WAN&LAN設定メニューから[DDNS]を選択します。



3

DDNSの「有効」を選択します。

DDNS: ☒ 有効 ☐ 無効

サービスプロバイダ: DynDNS

ドメイン名: host.dyndns.org

ユーザーID:

パスワード:

適用

戻る

4

サービスプロバイダを選択し、ドメイン名、ユーザー名ID、パスワードを入力して、[適用]をクリックします。

DDNS: ☒ 有効 ☐ 無効

サービスプロバイダ: DynDNS

ドメイン名: host.dyndns.org

ユーザーID:

パスワード:

適用

戻る

こどもネットタイマー2でできること

「こどもネットタイマー2」は、接続されたWi-Fi機器に対して、有害なWEBサイトの閲覧を制限したり、タイマー設定することでWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができます。お子様の有害サイトへのアクセスをブロックしたい場合や、Wi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合などにお勧めです。

こどもネットタイマー2の設定について

あらかじめすぐに使える「おすすめ設定」を用意されており、簡単に設定することができます。

こどもネットタイマー2画面



機能一覧	こどもネットタイマー機能が設定可能なWi-Fi機器を一覧表示するためのメニューです。(➡P115)
おすすめ設定	あらかじめ用意された6つのおすすめ設定を表示するためのメニューです。(➡P119)
WEBサイトフィルター設定	WEBサイトフィルターの設定内容を表示するためのメニューです。(➡P122)
WEBサイトフィルター登録	WEBサイトフィルター機能を使うために必要なライセンスキーを登録するためのメニューです。(➡P129)

機能一覧画面

こどもネットタイマー機能が設定可能なWi-Fi機器を一覧表示します。

MEMO

- 本製品に無線接続されたWi-Fi機器が一覧表示されます。一度でも本製品と無線接続されたWi-Fi機器は、現在接続されていない場合でも表示されます。
- 機器名称はWi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。区別しやすい名前に変更してください。
(👉P118)

編集		機器名称	MACアドレス	おすすめ設定	WEBサイトフィルター	残り時間	タイマー	スケジュール	繰り返し
編集		ななスマホ		中学生向	2時間56分	3時間00分	16時00分~22時00分	毎日	
編集		ゆづスマホ		高校生向	4時間00分	4時間00分	無制限	無制限	
編集		そらスマホ		小学生低学年向け	2時間00分	2時間00分	16時00分~18時00分	平日	

戻る

編集	選択したWi-Fi機器の設定内容を編集したいときにクリックします。
機器名称	Wi-Fi機器の名称が表示されます。 Wi-Fi機器のMACアドレスが表示されますので、「機器編集」画面で区別しやすい名称に変更してください。
MACアドレス	Wi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。
おすすめ設定	設定されている「おすすめ設定」の設定名が表示されます。 設定していない場合は「制限なし」と表示されます。
WEBサイトフィルター	設定されている「WEBサイトフィルター」の設定名が表示されます。 設定していない場合は「制限なし」と表示されます。

残り時間	タイマー設定を有効にしている場合に、その日のインターネットに接続可能な残り時間を表示します。設定していない場合は「無制限」と表示されます。
タイマー	タイマー設定を有効にしている場合に、1日のインターネットに接続を許可する時間数を表示します。設定していない場合は「無制限」と表示されます。
スケジュール	スケジュール設定を有効にしている場合に、インターネットへの接続を許可する時間帯を表示します。設定していない場合は「無制限」と表示されます。
繰り返し	設定を実行する曜日が表示されます。 ・ 毎日:月～日をチェックした場合に表示されます。 ・ 平日:月～金をチェックした場合に表示されます。 設定していない場合は「無制限」が表示されます。

「機器一覧」画面の[編集]をクリックしたときに表示される画面で、こどもネットタイマー2の設定内容をWi-Fi機器ごとに詳細な設定を行います。

機器 編集

機器名称: おねえちゃんスマホ

おすすめ設定: Level3

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 中学生向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効
3 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効
18 時 0 分から
22 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

機器名称	Wi-Fi機器を区別するための任意の名称を設定します。 Wi-Fi機器のMACアドレスが表示されますので、区別しやすい名称を設定してください。 (例) おねえちゃんスマホ、おとうとゲーム機 など
おすすめ設定	おすすめ設定を選択します。お客様がオリジナルな設定をされる場合は「ユーザーカスタマイズ」を選択してください。 あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択した場合は、その設定内容が以下の各項目に反映されます。
通信禁止	このWi-Fi機器のインターネット接続を禁止するときにチェックします。
WEBサイトフィルター	設定したい「WEBサイトフィルター」を選択し、フィルター機能の有効／無効を設定します。 ※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択した場合は、おすすめ設定の「WEBサイトフィルター」が選択されます。変更することもできます。
タイマー	1日のインターネットに接続できる時間を設定します。タイマーを使う場合は「有効」をチェックします。 ※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択した場合は、おすすめ設定の「タイマー設定」が反映されます。変更することもできます。
スケジュール	インターネットに接続できる時間帯を設定します。スケジュールを使う場合は「有効」をチェックします。 ※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択した場合は、おすすめ設定の「スケジュール設定」が反映されます。変更することもできます。

この設定を実行させる曜日をチェックします。
※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択した場合は、おすすめ設定の「繰り返し設定」が反映されます。変更することもできます。

※おすすめ設定であらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択したあとに、「WEBサイトフィルター」、「タイマー」、「スケジュール」、「繰り返し」を変更した場合は、おすすめ設定の名称が「ユーザーカスタマイズ」に変更されます。

MEMO

無線機器のMACアドレスを調べるには

●iPhone/iPadの場合

1. ホーム画面の[設定]アイコンをタップします。
2. 「一般」－「情報」をタップします。
⇒「Wi-Fiアドレス」に表記されています。

●Androidの場合

1. ホーム画面の[アプリ]アイコンをタップします。
2. [設定]アイコンをタップします。
3. 「タブレット端末」－「端末の状態」をタップします。
⇒「Wi-Fi MACアドレス」に表記されています。

※機種やAndroidバージョンにより操作が異なる場合があります。

●ニンテンドー3DS LLの場合

1. 3DSメニューの[本体設定]アイコンをタッチします。
2. [インターネット設定]をタッチします。
3. [その他の情報]をタッチします。
4. [MACアドレスの確認]をタッチします。
⇒「Wi-Fi MACアドレス」に表記されています。

おすすめ設定画面

あらかじめ用意された6つの設定が表示されます。お客様が「おすすめ設定 編集」画面で編集することもできます。

おすすめ設定					
編集	タイトル	WEBサイト フィルター	タイマー設 定	スケジュー ル設定	繰り返し
編集	Level1	小学生低学 年向け	02時間00分	16時00分 ～18時00分	平日
編集	Level2	小学生高学 年向け	02時間00分	16時00分 ～21時00分	平日
編集	Level3	中学生向け	03時間00分	16時00分 ～22時00分	毎日
編集	Level4	高校生向け	04時間00分	無制限	無制限
編集	Level5	WEB初心者 向け	無制限	無制限	無制限
編集	制限なし	無制限	無制限	無制限	無制限
戻る					

編集	選択したおすすめ設定の設定内容を編集したいときにクリックします。
タイトル	おすすめ設定の名称が表示されます。「おすすめ設定 編集」画面で区別しやすい名称に変更することができます。設定していない場合は「制限なし」が表示されます。
WEBサイトフィルター	設定対象となっている「WEBサイトフィルター」の名称が表示されます。
タイマー設定	タイマー設定を有効にしている場合に、インターネットに接続を許可する時間数を表示します。設定していない場合は「無制限」と表示されます。
スケジュール設定	スケジュール設定を有効にしている場合に、インターネットに接続を許可する時間帯を表示します。設定していない場合は「無制限」と表示されます。
繰り返し	設定を実行する曜日が表示されます。 ・ 毎日:月～日をチェックした場合に表示されます。 ・ 平日:月～金をチェックした場合に表示されます。 スケジュール設定を無効にしている場合は「無制限」と表示されます。

おすすめ設定 編集画面

「おすすめ設定」画面の[編集]をクリックしたときに表示される画面で、おすすめ設定の設定内容を編集する画面です。



おすすめ設定名称	おすすめ設定画面に表示されるタイトルを編集します。
WEBサイトフィルター	設定したいWEBサイトフィルターを選択し、フィルター機能の有効／無効を設定します。
タイマー	1日にインターネットに接続できる時間数を設定します。タイマーを使う場合は「有効」をチェックします。
スケジュール	インターネットに接続できる時間帯を設定します。スケジュールを使う場合は「有効」をチェックします。
繰り返し	この設定を実行させる曜日をチェックします。 ・チェックがある曜日:Wi-Fiに接続できます。 ・チェックがない曜日:Wi-Fiに接続できません。

MEMO

おすすめ設定の内容を編集した場合は、すでにWi-Fi機器に登録されている設定にも反映されます。

<おすすめ設定の設定内容>

あらかじめ用意されたおすすめ設定は下記の設定内容です。

おすすめ設定	WEBサイトフィルター	タイマー	スケジュール	繰り返し
Level1	小学生低学年向け	2時間／日	16:00～18:00	平日
Level2	小学生高学年向け	2時間／日	16:00～21:00	平日
Level3	中学生向け	3時間／日	16:00～22:00	毎日
Level4	高校生向け	4時間／日	7:00～23:00	毎日
Level5	WEB初心者向け	4時間／日	設定なし	毎日
制限なし	設定なし	4時間／日	設定なし	毎日

MEMO

おすすめ設定の設定内容を編集するには

あらかじめ設定された「おすすめ設定」を用途にあわせて編集することができます。

- ①「おすすめ設定」画面で編集したいおすすめ設定の[編集]をクリックします。
- ②用途に合わせて、各項目を設定し、[適用]をクリックします。

おすすめ設定 編集

おすすめ設定名称: Level1

WEBサイトフィルター: 小学生低学年向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効 2 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効 16 時 0 分から 18 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☐ 土 ☐ 日

WEBサイトフィルター設定画面

各フィルターの設定内容を表示します。

<小学生低学年向け>

 WEBサイトフィルター設定 

おすすめフィルター設定: **小学生低学年向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ 子供にとって不適切なもの ☒ 不法 ☒ 違法と思われる行為 ☒ 著作権や商標権の侵害行為 ☒ 薬物 ☒ 違法と思われる薬物 ☒ 不適切な薬物利用 ☒ 自殺誘引 ☒ 出会い ☒ 暴力・恐怖 ☒ 暴力組織・カルト ☒ グロテスク・ショッキング ☒ ポルノ ☒ 性行為 ☒ ヌード・セミヌード ☒ 性風俗 ☒ アダルト検索・リンク集 ☒ フェティシズム ☒ 文章による性的表現 ☒ 裏情報	☒ コミュニケーションに伴うトラブルの可能性 があるもの ☒ コミュニケーション ☒ 子供への配慮の不足、大人が対象 ☒ 子供の利用への配慮レベル1 ☒ 子供の利用への配慮レベル2 ☒ 子供の利用への配慮レベル3
☒ コンピューターセキュリティ ☒ セキュリティ ☒ クラッキング ☒ 不正コード ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺	☒ 子供には薦められない。または、利用の際に 知識経験や判断力が必要となるもの ☒ ギャンブル、宝くじ ☒ 飲酒・喫煙 ☒ 飲酒 ☒ 喫煙 ☒ アルコール製品 ☒ 成人娯楽 ☒ 極端な主張 ☒ オークション・オンラインショッピング ☒ 賭博・副収入
☒ サイトのキャッシュデータへの対応 ☒ 翻訳・キャッシュ ☒ ウェブ翻訳 ☒ 検索キャッシュ ☒ プロキシ	☒ 熱中または時間消費の可能性があるもの ☒ 趣味・娯楽 ☒ ゲーム ☒ 動画 ☒ 音楽 ☒ 占い ☒ タレント・芸能人 ☒ 娯楽一般 ☒ プロスポーツ

適用

<小学生高学年向け>


WEBサイトフィルター設定


おすすめフィルター設定: **小学生高学年向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ 子供にとって不適切なもの ☒ 不法 ☒ 違法と思われる行為 ☒ 著作権や商標権の侵害行為 ☒ 薬物 ☒ 違法と思われる薬物 ☒ 不適切な薬物利用 ☒ 自殺誘引 ☒ 出会い ☒ 暴力・恐怖 ☒ 暴力組織・カルト ☒ グロテスク・ショッキング ☒ ポルノ ☒ 性行為 ☒ ヌード・セミヌード ☒ 性風俗 ☒ アダルト検索・リンク集 ☒ フェティシズム ☒ 文章による性的表現 ☒ 裏情報 ☒ コンピューターセキュリティ ☒ セキュリティ ☒ クラッキング ☒ 不正コード ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺 ☒ サイトのキャッシュデータへの対応 ☒ 翻訳・キャッシュ ☒ ウェブ翻訳 ☒ 検索キャッシュ ☒ プロキシ	☒ コミュニケーションに伴うトラブルの可能性 があるもの ☒ コミュニケーション ☒ 子供への配慮の不足、大人が対象 ☒ 子供の利用への配慮レベル1 ☒ 子供の利用への配慮レベル2 ☐ 子供の利用への配慮レベル3 ☒ 子供には高められない。または、利用の際に 知識経験や判断力が必要となるもの ☒ ギャンブル、宝くじ ☒ 飲酒・喫煙 ☒ 飲酒 ☒ 喫煙 ☒ アルコール製品 ☒ 成人娯楽 ☒ 極端な主張 ☒ オークション・オンラインショッピング ☒ 懸賞・副収入 ☐ 熱中または時間消費の可能性のあるもの ☐ 趣味・娯楽 ☐ ゲーム ☐ 動画 ☐ 音楽 ☐ 占い ☐ タレント・芸能人 ☐ 娯楽一般 ☐ プロスポーツ
--	---

適用

<中学生向け>

 WEBサイトフィルター設定 

おすすめフィルター設定: **中学生向け** ▼

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ 子供にとって不適切なもの ☒ 不法 ☒ 違法と思われる行為 ☒ 著作権や商標権の侵害行為 ☒ 薬物 ☒ 違法と思われる薬物 ☒ 不適切な薬物利用 ☒ 自殺誘引 ☒ 出会い ☒ 暴力・恐怖 ☒ 暴力組織・カルト ☒ グロテスク・ショッキング ☒ ポルノ ☒ 性行為 ☒ ヌード・セミヌード ☒ 性風俗 ☒ アダルト検索・リンク集 ☒ フェティシズム ☒ 文章による性的表現 ☒ 裏情報	☒ コミュニケーションに伴うトラブルの可能性 があるもの ☒ コミュニケーション ☒ 子供への配慮の不足、大人が対象 ☒ 子供の利用への配慮レベル1 ☐ 子供の利用への配慮レベル2 ☐ 子供の利用への配慮レベル3
☒ コンピュータセキュリティ ☒ セキュリティ ☒ クラッキング ☒ 不正コード ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺	☒ 子供には高められない。または、利用の際に 知識経験や判断力が必要となるもの ☒ ギャンブル、宝くじ ☒ 飲酒・喫煙 ☒ 飲酒 ☒ 喫煙 ☒ アルコール製品 ☒ 成人娯楽 ☒ 極端な主張 ☒ オークション・オンラインショッピング ☒ 懸賞・副収入
☒ サイトのキャッシュデータへの対応 ☒ 翻訳・キャッシュ ☒ ウェブ翻訳 ☒ 検索キャッシュ ☒ プロキシ	☐ 熱中または時間消費の可能性 があるもの ☐ 趣味・娯楽 ☐ ゲーム ☐ 動画 ☐ 音楽 ☐ 占い ☐ タレント・芸能人 ☐ 娯楽一般 ☐ プロスポーツ

適用

<高校生向け>

 WEBサイトフィルター設定

おすすめフィルター設定: **高校生向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ 子供にとって不適切なもの ☒ 不法 ☒ 違法と思われる行為 ☒ 著作権や商標権の侵害行為 ☒ 薬物 ☒ 違法と思われる薬物 ☒ 不適切な薬物利用 ☒ 自殺誘引 ☒ 出会い ☒ 暴力・恐怖 ☒ 暴力組織・カルト ☒ グロテスク・ショッキング ☒ ポルノ ☒ 性行為 ☒ ノード・セミノード ☒ 性風俗 ☒ アダルト検索・リンク集 ☒ フェティシズム ☒ 文章による性的表現 ☒ 裏情報	☒ コミュニケーションに伴うトラブルの可能性 があるもの ☒ コミュニケーション ☒ 子供への配慮の不足、大人が対象 ☐ 子供の利用への配慮レベル1 ☐ 子供の利用への配慮レベル2 ☐ 子供の利用への配慮レベル3 ☒ 子供には高められない。または、利用の際に 知識経験や判断力が必要となるもの ☒ ギャンブル、宝くじ ☒ 飲酒・喫煙 ☒ 飲酒 ☒ 喫煙 ☒ アルコール製品 ☐ 成人娯楽 ☐ 極端な主張 ☐ オークション・オンラインショッピング ☒ 懸賞・副収入 ☐ 熱中または時間消費の可能性 があるもの ☐ 趣味・娯楽 ☐ ゲーム ☐ 動画 ☐ 音楽 ☐ 占い ☐ タレント・芸能人 ☐ 娯楽一般 ☐ プロスポーツ
☒ コンピューターセキュリティ ☒ セキュリティ ☒ クラッキング ☒ 不正コード ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺	
☒ サイトのキャッシュデータへの対応 ☒ 翻訳・キャッシュ ☒ ウェブ翻訳 ☒ 検索キャッシュ ☒ プロキシ	

適用

<WEB初心者向け>

 WEBサイトフィルター設定

おすすめフィルター設定: **WEB初心者向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ **子供にとって不適切なもの**

- ☒ 不法
 - ☒ 違法と思われる行為
 - ☒ 著作権や商標権の侵害行為
- ☒ 薬物
 - ☒ 違法と思われる薬物
 - ☒ 不適切な薬物利用
- ☒ 自殺誘引
- ☒ 出会い
- ☒ 暴力・恐怖
 - ☒ 暴力組織・カルト
 - ☒ グロテスク・ショッキング
- ☒ ポルノ
 - ☒ 性行為
 - ☒ ノード・セミノード
 - ☒ 性風俗
 - ☒ アダルト検索・リンク集
 - ☒ フェティシズム
 - ☒ 文章による性的表現
- ☒ 裏情報

☒ **コンピューターセキュリティ**

- ☒ セキュリティ
 - ☒ クラッキング
 - ☒ 不正コード
 - ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺

☒ **サイトのキャッシュデータへの対応**

- ☒ 翻訳・キャッシュ
 - ☐ ウェブ翻訳
 - ☐ 検索キャッシュ
- ☒ プロキシ

☐ **コミュニケーションに伴うトラブルの可能性
があるもの**

- ☐ コミュニケーション
 - ☐ 子供への配慮の不足、大人が対象
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル1
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル2
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル3

☒ **子供には高められない。または、利用の際に
知識経験や判断力が必要となるもの**

- ☒ ギャンブル、宝くじ
 - ☐ 飲酒・喫煙
 - ☐ 飲酒
 - ☐ 喫煙
 - ☐ アルコール製品
- ☐ 成人娯楽
- ☒ 極端な主張
- ☐ オークション・オンラインショッピング
- ☒ 懸賞・副収入

☐ **熱中または時間消費の可能性
があるもの**

- ☐ 趣味・娯楽
 - ☐ ゲーム
 - ☐ 動画
 - ☐ 音楽
 - ☐ 占い
 - ☐ タレント・芸能人
 - ☐ 娯楽一般
 - ☐ プロスポーツ

適用

<WEB上級者向け>

 WEBサイトフィルター設定

おすすめフィルター設定: **WEB上級者向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☐ **子供にとって不適切なもの**

- ☐ 不法
 - ☐ 違法と思われる行為
 - ☐ 著作権や商標権の侵害行為
- ☐ 薬物
 - ☐ 違法と思われる薬物
 - ☐ 不適切な薬物利用
- ☐ 自殺誘引
- ☐ 出会い
- ☐ 暴力・恐怖
 - ☐ 暴力組織・カルト
 - ☐ グロテスク・ショッキング
- ☐ ポルノ
 - ☐ 性行為
 - ☐ ノード・セミノード
 - ☐ 性風俗
 - ☐ アダルト検索・リンク集
 - ☐ フェティシズム
 - ☐ 文章による性的表現
- ☐ 裏情報

☒ **コンピューターセキュリティ**

- ☒ セキュリティ
 - ☐ クラッキング
 - ☒ 不正コード
 - ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺

☐ **サイトのキャッシュデータへの対応**

- ☐ 翻訳・キャッシュ
- ☐ ウェブ翻訳
- ☐ 検索キャッシュ
- ☐ プロキシ

☐ **コミュニケーションに伴うトラブルの可能性
があるもの**

- ☐ コミュニケーション
 - ☐ 子供への配慮の不足、大人が対象
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル1
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル2
 - ☐ 子供の利用への配慮レベル3

☐ **子供には高められない。または、利用の際に
知識経験や判断力が必要となるもの**

- ☐ ギャンブル、宝くじ
- ☐ 飲酒・喫煙
 - ☐ 飲酒
 - ☐ 喫煙
- ☐ アルコール製品
- ☐ 成人娯楽
- ☐ 極端な主張
- ☐ オークション・オンラインショッピング
- ☐ 懸賞・副収入

☐ **熱中または時間消費の可能性
があるもの**

- ☐ 趣味・娯楽
 - ☐ ゲーム
 - ☐ 動画
 - ☐ 音楽
 - ☐ 占い
 - ☐ タレント・芸能人
 - ☐ 娯楽一般
 - ☐ プロスポーツ

適用

WEBサイトフィルターのフィルター項目を編集するには

あらかじめ登録されている「WEBサイトフィルター」を用途にあわせて編集することができます。

- ①「おすすめフィルター設定」で編集したい「WEBサイトフィルター」を選択します。
- ②各項目のチェックを編集し、[適用]をクリックします。

WEBサイトフィルター設定

おすすめフィルター設定: **小学生低学年向け**

☐ 全チェックリスト選択 / 解除

☒ 子供にとって不適切なもの ☒ 不法 ☒ 違法と思われる行為 ☒ 著作権や肖像権の侵害行為 ☒ 薬物 ☒ 違法と思われる薬物 ☒ 不適切な薬物利用 ☒ 自殺誘引 ☒ 出会い ☒ 暴力・恐怖 ☒ 暴力組織・カルト ☒ グロテスク・ショッキング ☒ ポルノ ☒ 性行為 ☒ ユード・セミユード ☒ 性虐待 ☒ アダルト検索・リンク集 ☒ フェティシズム ☒ 文章による性的表現 ☒ 悪情報 ☒ コンピューターセキュリティ ☒ セキュリティ ☒ クラッキング ☒ 不正コード ☒ フィッシング詐欺・ワンクリック詐欺 ☒ サイトのキャッシュデータへの対応 ☒ 翻訳・キャッシュ ☒ ウェブ翻訳 ☒ 検索キャッシュ ☒ プロキシ	☒ コミュニケーションに伴うトラブルの可能性 があるもの ☒ コミュニケーション ☒ 子供への配慮の不足、大人が対象 ☒ 子供の利用への配慮レベル1 ☒ 子供の利用への配慮レベル2 ☒ 子供の利用への配慮レベル3 ☒ 子供には読められない。または、利用の際に 知識経験や判断力が必要となるもの ☒ ギャンブル、宝くじ ☒ 飲酒・喫煙 ☒ 飲酒 ☒ 喫煙 ☒ アルコール製品 ☒ 成人娯楽 ☒ 極端な主張 ☒ オークション・オンラインショッピング ☒ 懸賞・副収入 ☒ 熱中または時間消費の可能性のあるもの ☒ 趣味・娯楽 ☒ ゲーム ☒ 動画 ☒ 音楽 ☒ 占い ☒ タレント・芸能人 ☒ 娯楽一般 ☒ プロスポーツ
--	---

適用

WEBサイトフィルター登録画面

WEBサイトフィルター機能を使うために必要なライセンスキーを登録します。

MEMO

ライセンスは別売です。本サービスをお求めになる場合は、別途ライセンスをお求めください。
型番:WRC-EX-KNTA1

WEBサイトフィルター	WEBサイトフィルターの有効／無効を設定します。
ライセンスキー	フィルターを有効にするためのライセンスキーを入力します。

ライセンスキーを登録するには

WEBサイトフィルター機能を有効にするためにライセンスキーを登録します。

- ① 「WEBサイトフィルター」の「有効」をチェックします。
- ② ライセンスキーを入力し、[適用]をクリックします。

こどもネットタイマー 2を設定する

こどもネットタイマー2を設定する手順を説明します。

- ・ こどもネットタイマー2は、本製品が「ルーターモード」で動作しているときのみ使用できます。他のAP（アクセスポイント）モード、子機モード、中継器モードのときは使用できません。
- ・ こどもネットタイマー2を設定するWi-Fi機器やゲーム機が、一度も本製品と無線接続されていない場合は、先に無線接続を行ってください。無線接続については(👉P47)

〔設定例〕 「ななスマホ」という名称のスマートフォンに、あらかじめ用意された「おすすめ設定」を利用せず、下記の設定を行います。

- ・ WEBサイトフィルター:小学生高学年向け
- ・ 1日のインターネット接続時間:3時間
- ・ インターネットに接続できる時間帯:
午後6時30分～午後9時30分
- ・ この設定を実行する曜日:平日のみ

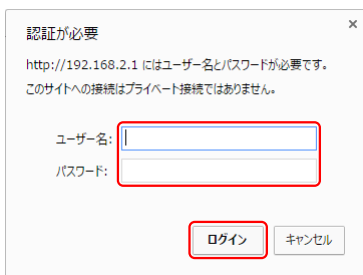
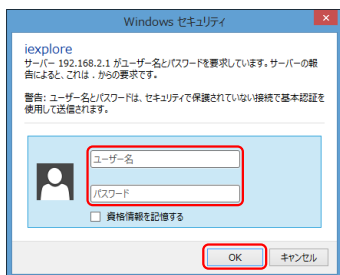
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。



2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



3 詳細設定メニューから[こどもネットタイマー2]を選択します。



4 こどもネットタイマー2メニューから[機器一覧]を選択します。



5 こどもネットタイマー2を設定したいWi-Fi機器の[編集]をクリックします。

機器一覧

編集	機器名称	MACアドレス	おすすめ設定	WEBサイトフィルター	残り時間	タイマー	スケジュール	繰り返し
編集	ななスマホ		中学生向	3時間00分	3時間00分	16時00分~22時00分	毎日	
編集	ゆづスマホ		高校生向	4時間00分	4時間00分	無制限	無制限	
編集	そらスマホ		小学生低学年向	2時間00分	2時間00分	16時00分~18時00分	平日	

戻る

6 あらかじめ用意された「おすすめ設定」を設定する場合は「Level1」～「Level5」、「制限なし」を選択します。おすすめ設定以外の設定をされたい場合は「ユーザーカスタマイズ」を選択します。

※「おすすめ設定」の設定内容は(☞P121)

※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択された場合は、手順11に進んでください。

※あらかじめ用意された「おすすめ設定」を選択された場合でも、以下の設定内容を変更することができます。変更した場合は、おすすめ設定が「ユーザーカスタマイズ」に変更になります。

機器 編集

機器名称: ななスマホ

おすすめ設定: **ユーザーカスタマイズ**

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: WEB初心者向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☐ 有効
4 時間 0 分

スケジュール: ☐ 有効
7 時 0 分から
23 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

7 「有効」をチェックし、「WEBサイトフィルター」でフィルターを選択します。

※ WEBサイトフィルター機能を有効にするには、ライセンスキーの登録が必要です。(☞P129)

※ 各WEBサイトフィルターの設定内容は(☞P122)

機器編集

機器名称: ななスマホ

おすすめ設定: ユーザーカスタマイズ

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 小学生高学年向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効
4 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効
7 時 0 分から
23 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

8 「有効」をチェックし、「タイマー」で1日にインターネットに接続できる時間数を設定します。

機器編集

機器名称: ななスマホ

おすすめ設定: ユーザーカスタマイズ

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 小学生高学年向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効
3 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効
7 時 0 分から
23 時 0 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

- 9 「有効」をチェックし、「スケジュール」でインターネットに接続できる時間帯を設定します。開始時刻と終了時刻を設定します。

機器 編集

機器名称: ななスマホ

おすすめ設定: ユーザーカスタマイズ

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 小学生高学年向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効

3 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効

18 時 30 分から

21 時 30 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

- 10 「繰り返し」でこの設定を実行する曜日を設定します。実行する曜日をチェックします。

機器 編集

機器名称: ななスマホ

おすすめ設定: ユーザーカスタマイズ

通信禁止: ☐ 通信禁止

WEBサイトフィルター: 小学生高学年向け ☒ 有効 ☐ 無効

タイマー: ☒ 有効

3 時間 0 分

スケジュール: ☒ 有効

18 時 30 分から

21 時 30 分まで

繰り返し: ☒ 月 ☒ 火 ☒ 水 ☒ 木 ☒ 金 ☒ 土 ☒ 日

適用 キャンセル

戻る

- 11 設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

MEMO

設定するWi-Fi機器が複数ある場合には
手順 5 ～ 10 を繰り返します。

省電力機能を「有効」に設定すると、「POWER」、「WPS」以外のランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

LED省電力設定画面



LED省電力機能 LED省電力機能の有効／無効を選択します。(初期値:無効)

LED省電力設定を行う

- 1 詳細設定メニューから[LED省電力設定]を選択します。



2 LED省電力機能の「有効」を選択し、[適用]をクリックします。



本製品にファイアウォール設定を行います。

ファイアウォール設定画面



アクセスコントロール	アクセスコントロール設定を行います。(☞P139)
ポートフォワーディング	ポートフォワーディング設定を行います。(☞P143)
URLフィルタリング	URLフィルタリング設定を行います。(☞P148)
DMZ	DMZ設定を行います。(☞P152)

アクセスコントロール

MACアドレスを登録した特定の無線LAN子機または有線クライアントからの接続を拒否することができます。
特定の相手からの不正なアクセスを防止することができます。
最大20件まで設定できます。

アクセスコントロール画面

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する端末を設定します。登録できる端末数は、最大 20 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。

アクセスコントロール機能: ☐ 有効 ☒ 無効

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

アクセスコントロール機能	アクセスコントロール機能の有効／無効を設定します。 (初期値:無効)
MACアドレス	本製品への接続を拒否する機器のMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは「:」で区切らないで入力します。 (例:0090fe0123ab)
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 (半角英数字で最大20文字)

- 1 詳細設定メニューから[ファイアウォール設定]を選択します。



- 2 ファイアウォール設定メニューから[アクセスコントロール]を選択します。



3 アクセスコントロール機能の「有効」を選択します。

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する端末を設定します。登録できる端末数は、最大 20 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。

アクセスコントロール機能: ☒ 有効 ☐ 無効

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

4 MACアドレスとコメントを入力し、[追加]をクリックします。

- ※ MACアドレスは「:」で区切らないで入力します。(例:0090fe0123ab)
- ※ コメントは、機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(半角英数字で最大20文字)

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する端末を設定します。登録できる端末数は、最大 20 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。

アクセスコントロール機能: ☒ 有効 ☐ 無効

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

5 追加した機器がアクセスコントロールリストに表示されます。設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を禁止する端末を設定します。登録できる端末数は、最大 20 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。

アクセスコントロール機能: ☒ 有効 ☐ 無効

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	選択
00:90:fe:01:23:ab	android	☐

選択して削除

全てを削除

適用

戻る

MEMO

設定する機器が複数ある場合には

手順 4 ～ 5 を繰り返します。

アクセスコントロールに設定した機器を削除するには

アクセスコントロールリストの削除したい機器の「選択」をチェックし、[選択して削除]をクリックします。リストに表示されているすべての機器を削除するときは [全てを削除]をクリックします。最後に[適用]をクリックして設定を反映させます。

ポートフォワーディング

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルーターでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピューターにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピューターをWAN(インターネット)側からアクセスできるようにすることができます。

最大20件まで設定できます。



注意

この機能を利用する場合は、P99「固定DHCP設定画面」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバー機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピューターがWAN(インターネット)側からアクセスできるようになります。

ポートフォワーディング画面


ポートフォワーディング


特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。 設定できる登録数は、最大 20 です。

ポートフォワーディング: ☐ 有効 ☒ 無効

ローカルIPアドレス:

タイプ: 両方

ポート:

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレ	コメント	タイプ	ポート	選択
ス				

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効／無効を設定します。 (初期値:無効)
ローカルIPアドレス	ポートフォワーディングの対象となる機器のIPアドレスを入力します。
タイプ	転送に使用する(TCP/UDP)プロトコルのタイプを選択します。(初期値:両方)
ポート	WAN(インターネット)側から見た送信先のポート番号を入力します。
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(半角英数字で最大20文字)

- 1 詳細設定メニューから[ファイアウォール設定]を選択します。



- 2 ファイアウォール設定メニューから[ポートフォワーディング]を選択します。



3 ポートフォワーディングの「有効」を選択します。



ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。 設定できる登録数は、最大 20 です。

ポートフォワーディング: ☒ 有効 ☐ 無効

ローカルIPアドレス:

タイプ:

ポート:

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレ	コメント	タイプ	ポート	選択
-----------	------	-----	-----	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

4 ローカルIPアドレス、タイプ、ポート、コメントを入力し、[追加]をクリックします。

※ コメントは、機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。(半角英数字で最大20文字)



ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。 設定できる登録数は、最大 20 です。

ポートフォワーディング: ☒ 有効 ☐ 無効

ローカルIPアドレス:

タイプ:

ポート:

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレ	コメント	タイプ	ポート	選択
-----------	------	-----	-----	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

- 5** 追加した機器がポートフォワーディング設定リストに表示されます。設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。 設定できる登録数は、最大 20 です。

ポートフォワーディング: ☒ 有効 ☐ 無効

ローカルIPアドレス:

タイプ:

ポート:

コメント: (最大20文字、半角英数字のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレ	コメント	タイプ	ポート	選択
192.168.2.50	Win10PC	両方	80	☐

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

MEMO

設定する機器が複数ある場合には

手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

ポートフォワーディングに設定した機器を削除するには

ポートフォワーディング設定リストの削除したい機器の「選択」をチェックし、[選択して削除]をクリックします。リストに表示されているすべての機器を削除するときは[全てを削除]をクリックします。最後に[適用]をクリックして設定を反映させます。

URLフィルタリング

特定の文字列を含むURLへのアクセスを制御することができます。これにより、URLに設定した文字列を含むWebサイトの閲覧をできないようにすることができます。

最大16件まで設定できます。

URLフィルタリング画面

URLフィルタリング

特定の文字列を含む URLへのアクセスを制限する設定を行います。 設定できる登録数は、最大16 です。

URLフィルタリング: ☐ 有効 ☒ 無効

フィルタする文字列: (最大30文字、半角英数字のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列	選択
-----	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

URLフィルタリング	URLフィルタリング機能の有効／無効を設定します。 (初期値:無効)
フィルタする文字列	接続を拒否するWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。

- 1 詳細設定メニューから[ファイアウォール設定]を選択します。



- 2 ファイアウォール設定メニューから[URLフィルタリング]を選択します。



3 URLフィルタリングの「有効」を選択します。

URLフィルタリング

特定の文字列を含む URL へのアクセスを制限する設定を行います。設定できる登録数は、最大 16 です。

URLフィルタリング: ☒ 有効 ☐ 無効

フィルタする文字列: (最大30文字、半角英数字のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列	選択
-----	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

4 フィルタする文字列を入力し、[追加]をクリックします。

※ 入力できる文字列は、半角英数字で最大30文字までです。

URLフィルタリング

特定の文字列を含む URL へのアクセスを制限する設定を行います。設定できる登録数は、最大 16 です。

URLフィルタリング: ☒ 有効 ☐ 無効

フィルタする文字列: (最大30文字、半角英数字のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列	選択
-----	----

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

- 5** 追加した文字列がURLフィルタ対象文字列リストに表示されます。設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

URLフィルタリング

特定の文字列を含む URL へのアクセスを制限する設定を行います。 設定できる登録数は、最大 16 です。

URLフィルタリング: ☒ 有効 ☐ 無効

フィルタする文字列: (最大30文字、半角英数字のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列	選択
xxx	☐

選択して削除 全てを削除

適用

戻る

MEMO

設定する文字列が複数ある場合には
手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

URLフィルタリングに設定した機器を削除するには
URLフィルタ対象文字列リストの削除したい機器の
「選択」をチェックし、[選択して削除]をクリックしま
す。リストに表示されているすべての機器を削除する
ときは[全てを削除]をクリックします。最後に[適用]
をクリックして設定を反映させます。

DMZ設定

通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN(インターネット)側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN(インターネット)側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用することができます。



設定を行う前に、接続先の端末がセキュリティー設定済みであるか、確認してください。

DMZ設定画面

DMZ	DMZ機能の有効／無効を設定します。(初期値:無効)
DMZ IPアドレス	インターネット(外部)の公開するWAN側IPアドレスを入力します。

- 1 詳細設定メニューから[ファイアウォール設定]を選択します。



- 2 ファイアウォール設定メニューから[DMZ]を選択します。



3 DMZの「有効」を選択します。



DMZ設定

特定通信パケットの転送先を設定します。
本設定を行う際には、転送先端末のセキュリティが確立されていることをご確認ください。

DMZ: ☒ 有効 ☐ 無効

DMZ IPアドレス: (最大20文字、半角英数字のみ)

適用

戻る

4 DMZ IPアドレスを入力し、[適用]をクリックします。

※ 入力できるDMZ IPアドレスは、半角英数字で最大20文字までです。



DMZ設定

特定通信パケットの転送先を設定します。
本設定を行う際には、転送先端末のセキュリティが確立されていることをご確認ください。

DMZ: ☒ 有効 ☐ 無効

DMZ IPアドレス: (最大20文字、半角英数字のみ)

適用

戻る

QoS(Quality of Service)は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときには有効です。



注意

QoS設定を行う前に、接続先の端末がセキュリティー設定済みであるか、確認してください。

QoS画面

 QoS 

QoSの設定を行います（上級者向け）。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します

ダウンロード/アップロード帯域設定

QoS : ☐ 有効 ☒ 無効

ダウンロード帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

アップロード帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向 :

上限 / 下限 :

帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

ローカルIPアドレス :

QoS設定リスト:

通信方向	上限 / 下限	帯域幅	ローカルIPアドレス	選択
ス				

●ダウンロード/アップロード帯域設定

QoS	QoS設定の有効／無効を選択します。(初期値:無効)
ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅(1/2/4/8/12/20/30Mbps)を選択します。(初期値:1Mbps)
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅(1/2/4/8/12/20/30Mbps)を選択します。(初期値:1Mbps)

●特定通信に関する設定

通信方向	通信方向(ダウンロード/アップロード/両方)を選択します。(初期値:ダウンロード)
上限/下限	最大帯域(上限)か、最低帯域保証(下限)かの設定をします。(初期値:下限)
帯域幅	通信で確保する帯域幅(1/2/4/8/12/20/30)を選択します。(初期値:30Mbps)
ローカルIPアドレス	この帯域を適用する端末のIPアドレスを入力します。

QoS設定を行う

- 1 詳細設定メニューから[QoS設定]を選択します。



- 2 QoSの「有効」を選択し、ダウンロード帯域幅、アップロード帯域幅、通信方向、上限/下限、帯域幅、ローカルIPアドレスを設定し、[追加]をクリックします。

 QoS

QoSの設定を行います（上級者向け）。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します

ダウンロード/アップロード帯域設定

QoS：☒ 有効 ☐ 無効

ダウンロード帯域幅： Mbps [1～30Mbps]

アップロード帯域幅： Mbps [1～30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向：

上限 / 下限：

帯域幅： Mbps [1～30Mbps]

ローカルIPアドレス：

QoS設定リスト:

通信方向	上限 / 下限	帯域幅	ローカルIPアドレ	選択
				

3 QoS設定した端末がリストに表示されます。設定内容を確認し、間違いがなければ[適用]をクリックします。

 QoS 

QoSの設定を行います（上級者向け）。
特定の通信に対し、一定以上の通信速度を確保します

ダウンロード/アップロード帯域設定

QoS : ☒ 有効 ☐ 無効

ダウンロード帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

アップロード帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

特定通信に関する設定

通信方向 :

上限 / 下限 :

帯域幅 : Mbps [1~30Mbps]

ローカルIPアドレス :

QoS設定リスト:

通信方向	上限 / 下限	帯域幅	ローカルIPアドレ	選択
ダウンロード	下限	30720	192.168.1.220	☐

MEMO

設定する端末が複数ある場合には

手順 **2** ~ **3** を繰り返します。

QoS設定した端末を削除するには

QoS設定リストの削除したい端末の「選択」をチェックし、[選択して削除]をクリックします。リストに表示されているすべての端末を削除するときは[全てを削除]をクリックします。最後に[適用]をクリックして変更を反映させます。

システム設定メニューでは、機器のステータス表示、ファームウェアの更新(アップデート)、設定の保存／復元、設定の初期化(工場出荷時の状態に戻す)、パスワード設定などができます。

ステータス

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



2 システム設定メニューから[ステータス]を選択します。



■ステータス画面(1/4)

システム設定	
稼働時間 :	0day:1h:35m:52s
ファームウェアバージョン :	v1.00
動作モード :	ルーターモード
現在時刻 :	2016/09/13 12:23:41
WAN設定	
IPアドレス :	192.168.1.220
サブネットマスク :	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ :	192.168.1.221
MACアドレス :	00:00:00:00:00:00
LAN設定	
IPアドレス :	192.168.2.1
サブネットマスク :	255.255.255.0
DHCPサーバー :	有効
MACアドレス :	00:00:00:00:00:00

●システム設定

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在設定中の動作モードを表示します。
現在時刻	本製品に内蔵された時計の現在の時刻を表示します。

●WAN設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●LAN設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCPサーバー機能の状態を表示します。 「有効」と表示されている場合は、DHCPサーバー機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

■ ステータス画面(2/4)

無線設定 (2.4GHz SSID)	
SSID :	elecom2g-349cd1
チャンネル :	11
暗号化 :	WPA2 AES
BSSID :	bc:5c:4c:34:9c:d1
接続端末台数 :	1
無線設定 (5GHz SSID)	
SSID :	elecom5g-349cd1
チャンネル :	44
暗号化 :	WPA2 AES
BSSID :	bc:5c:4c:34:9c:d3
接続端末台数 :	1

● 無線設定(2.4GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

● 無線設定(5GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

■ ステータス画面(3/4)

マルチSSID (2.4GHz SSID)	
SSID :	
チャンネル :	0
暗号化 :	暗号化なし
BSSID :	00:00:00:00:00:00
接続端末台数 :	0
マルチSSID (5GHz SSID)	
SSID :	
チャンネル :	0
暗号化 :	暗号化なし
BSSID :	00:00:00:00:00:00
接続端末台数 :	0

● マルチSSID(2.4GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

● マルチSSID(5GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

■ステータス画面(4/4)

ゲストSSID (2.4GHz SSID)	
SSID :	
チャンネル :	0
暗号化 :	暗号化なし
BSSID :	00:00:00:00:00:00
接続端末台数 :	0
ゲストSSID (5GHz SSID)	
SSID :	
チャンネル :	0
暗号化 :	暗号化なし
BSSID :	00:00:00:00:00:00
接続端末台数 :	0
戻る	

●ゲストSSID(2.4GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

●ゲストSSID(5GHz SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の台数を表示します。

ファームウェア更新

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアを更新(アップデート)することで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアの更新(アップデート)の方法は2種類あります。

手動更新	オンラインまたはダウンロードしたbinファイルを使って、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能による更新ができます。
自動更新	エレコム・ファームウェアサーバー上に最新のファームウェアがある場合、自動的にアップデートします。

手動でファームウェアを更新する

自動更新機能を使わずに手動でファームウェアを更新することもできます。ファームウェアをダウンロードせずにオンラインで更新する方法と、ファームウェアをダウンロードして更新する方法があります。

●オンラインでの更新

エレコム・ホームページ上にあるファームウェアをダウンロードすることなく、オンラインで更新することができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。



注意

通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、更新してください。

- 1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



- 2 システム設定メニューから[ファームウェア更新]を選択します。



3 ファームウェア更新メニューから[手動更新(アップデート)]を選択します。



4 【更新ファイルの確認】をクリックします。



MEMO

すでに最新のバージョンの場合は、「現在のファームウェアは、最新版です。」と表示されます。ファームウェアの更新を終了してください。

5 案内メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

6 更新作業が始まります。



ファームウェア更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する場合があります。

7 案内メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力して、ログインします。

8 「FWのアップデートが完了しました!!」と表示されます。Webブラウザ画面を閉じます。

●ダウンロードしたファームウェアを使った更新

ダウンロードしたファームウェアを使って更新します。

1 パソコンと本製品を有線LANで接続します。

※パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。

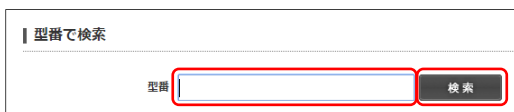
2 Webブラウザを起動し、エレコムWebサイト[<http://www.elecom.co.jp/>]に接続します。

 <http://www.elecom.co.jp/>

3 [ダウンロード]をクリックします。



- 4 「型番で検索」で型番を入力し、[検索]をクリックします。



- 5 本製品向けにダウンロードが可能な内容が表示されますので、「WRC-xxx(型番)用ファームウェア」をクリックします。

- 6 画面の説明に従ってダウンロードを開始します。

MEMO

- ・ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ・ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。

- 7 設定ユーティリティ(詳細設定)の詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



- 8 システム設定メニューから[ファームウェア更新]を選択します。



- 9 ファームウェア更新メニューから[手動更新 (アップデート)]を選択します。



- 10 [ファイルを選択]をクリックし、デスクトップの保存したファームウェアファイルを選択して、[適用]をクリックします。



- 11 「設定を反映しています。」と表示され、ファームウェアの更新（アップデート）を開始します。



注意

ファームウェア更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する場合があります。

- 12 更新（アップデート）が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

自動でファームウェアを更新する

本製品にはファームウェアを自動的に更新できる「ファームウェアの自動更新機能」があります。エレコム・ファームウェアサーバー上に最新のファームウェアがある場合に、本製品は自動的にファームウェアを更新します。この機能を「有効」に設定すると、常に最新の状態で本製品をご使用いただけます。（初期値:有効）



ファームウェア更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する場合があります。

MEMO

- ・自動更新は、本線品の電源が入った状態で、インターネットに接続されている必要があります。
- ・インターネットをご使用中は、更新作業は始まりません。

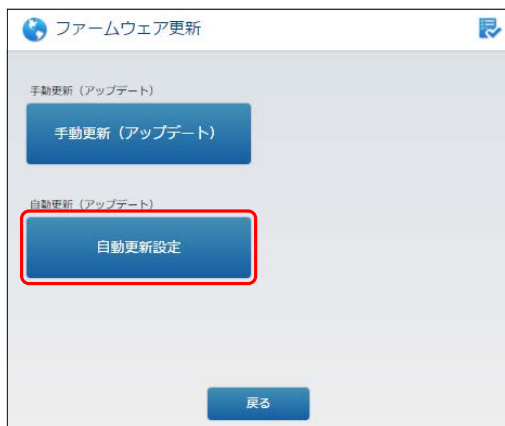
1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



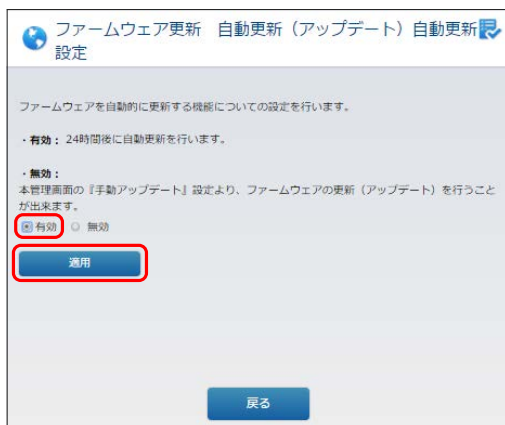
- 2** システム設定メニューから[ファームウェア更新]を選択します。



- 3** ファームウェア更新メニューから[自動更新設定]を選択します。



「無効」または「有効」を選択し、[適用]をクリックします。



以上で設定は完了です。

設定保存と復元

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルは読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

設定を保存する

- 1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



2 システム設定メニューから[設定保存と復元]を選択します。



3 [保存]をクリックします。「config.dat」というファイル名で保存されます。

※ 保存先は、ご自身であとからわかりやすい場所を選んでください。



- 1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



- 2 システム設定メニューから[設定保存と復元]を選択します。



- 3 [ファイルを選択]をクリックして、保存した「config.dat」を指定して[復元]をクリックします。



MEMO

- ・ 保存したファイルが見つからない場合は、「config.dat」で検索してみてください。
- ・ 設定が反映されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。
- ・ 復元が完了すると、「詳細設定」画面が表示されます。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)

設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

MEMO

ユーザー名やパスワードを忘れて、設定ユーティリティ(詳細設定)にログインできない場合は、リセットボタンを押すことで初期化(工場出荷時の状態に戻す)することもできます。(☞P24「各部の名称とはたらきー背面図」)

1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



- 2 システム設定メニューから[設定保存と復元]を選択します。



- 3 [初期化]をクリックします。



- 4 「設定を初期化しますか?」と表示されたら、[OK]をクリックします。

MEMO

設定が反映されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

- 5 工場出荷時の状態に戻りましたので、付属の「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行ってください。

パスワード設定

本製品の「設定ユーティリティ(詳細設定)」にログインするための、ユーザー名とパスワードを変更します。

※パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」に手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定したパスワードです。

※ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ユーザー名も変更することができます。

パスワードを変更する

- 1 詳細設定メニューから[システム設定]を選択します。



2 システム設定メニューから[パスワード設定]を選択します。



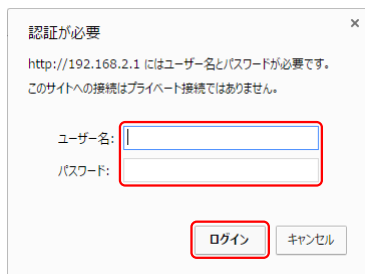
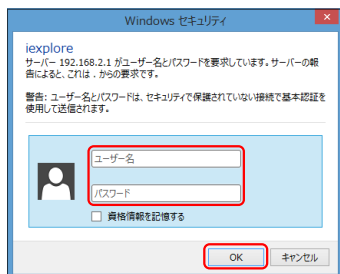
3 新しいユーザー名とパスワード、確認のためのパスワードを入力し、[適用]をクリックします。

MEMO

- ユーザー名だけを変更したいときや、パスワードだけを変更したときは、変更したくない項目には現在使用されているユーザー名やパスワードを入力してください。空欄があると設定できません。
- 設定が反映されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。

A screenshot of the 'パスワード設定' (Password Settings) form. It contains the following text: '本製品の管理画面にアクセスするためのログインユーザー名/パスワードを変更できます。' (You can change the login username/password for accessing the management screen of this product.), '※全ての項目は、半角英数字 (a~z,A~Z,0~9) , _ , . で設定してください。' (Please set all items with lowercase/uppercase letters, numbers, underscore, and period.), and '※より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。' (To ensure higher security, we recommend changing the settings during initial setup.). The form has three input fields: '新ユーザー名:' (New Username), '新パスワード:' (New Password), and '新パスワードの確認:' (Confirm New Password). The '新パスワード' and '新パスワードの確認' fields are highlighted with a red rectangular border. Below these fields is a blue '適用' (Apply) button, also highlighted with a red rectangular border. At the bottom center is a '戻る' (Back) button.

設定が反映されると、ログイン画面が表示されますので、新しいユーザー名とパスワードを入力してログインします。



MEMO

新しく変更したユーザー名やパスワードは、付属の「かんたんセットアップシート(初期値)」にメモして大切に保管してください。

かんたんセットアップ2は、本製品をインターネットのプロバイダー会社(ISP)から提供されたモデムなどに接続し、ご家庭内や職場などで複数のパソコンやタブレット端末、スマートフォン、ゲーム機などがインターネットに接続できる「ルーターモード」に設定します。

1 詳細設定メニューから[かんたんセットアップ2]を選択します。



2 「かんたんセットアップ2」の管理用アカウント ト設定画面が表示されます。

付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」を参照して設定を行ってください。

 **かんたんセットアップ2**

管理用アカウント設定

本製品の管理画面にアクセスするためのログインパスワードを設定してください。

※半角英数字（a～z、0～9）のみで設定してください。
※入力文字数は、パスワード30文字以内です。
※パスワードは、セキュリティの強度を保つために英数混合の8文字以上をおすすめします。
※本ステップで設定されたパスワードを必ずかんたんセットアップシートへ記入してください。

ユーザー名:

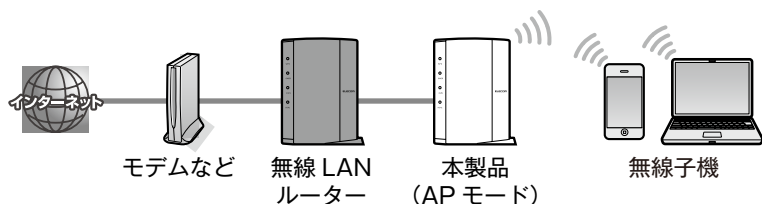
新パスワード:

新パスワードの再入力:

適用

1 AP(アクセスポイント) モードで使う Appendix 付録編

ネットワーク内にルーターが別に動作している場合などに、本製品のルーター機能を停止し、無線LANアクセスポイントとしてご利用いただけるモードです。



あらかじめ付属のセットアップガイドを参照して、端末との無線設定を行ってください。

AP(アクセスポイント) モードに設定する

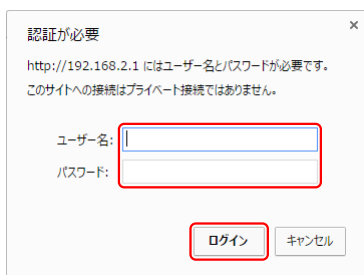
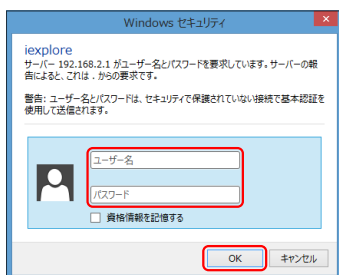
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。

A screenshot of a web browser's address bar. The text 'http://192.168.2.1' is entered and highlighted with a red rectangular box. To the left of the text is a small information icon (i).

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

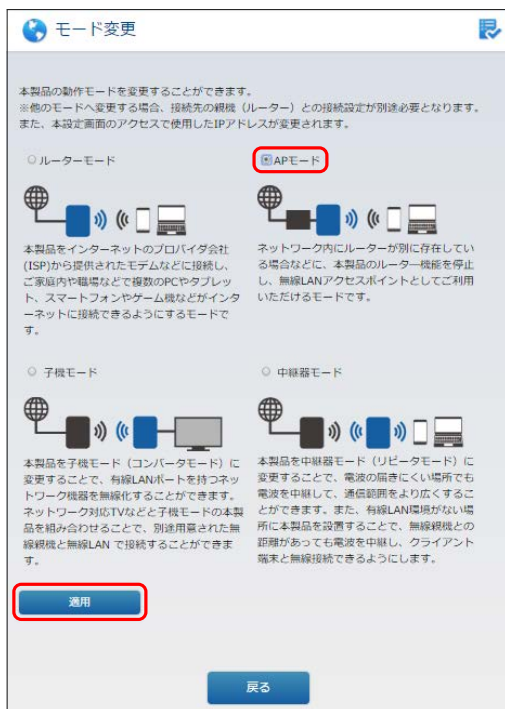
※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



3 詳細設定メニューから[モード変更]を選択 します。



4 モード変更メニューから「APモード」を選択し、[適用]をクリックします。



5 「設定の変更が成功しました」画面の[再起動]をクリックします。



6 再起動が終了したら、Webブラウザを閉じて、設定を終了します。

※引き続き、有線ルーターとの接続確認を行います。

7 本製品背面にあるDC IN端子からACアダプターのプラグを抜いて、電源を切ります。

8 有線ルーターのLANポートと本製品背面にあるINTERNETポートをLANケーブルで接続します。

9 本製品背面にあるDC IN端子にACアダプターのプラグを差し込み、電源を入れます。

10 パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットやネットワークに接続できることを確認します。接続できればAP(アクセスポイント)モードへのセットアップは完了です。

MEMO

AP(アクセスポイント)モードから他の動作モードに変更するには

本体背面のリセットボタンを10秒以上押し続けて、初期化(工場出荷時の状態)に戻します。(➡P24)

初期化したら、付属の「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行ってください。

AP(アクセスポイント)モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.245」*です。モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。

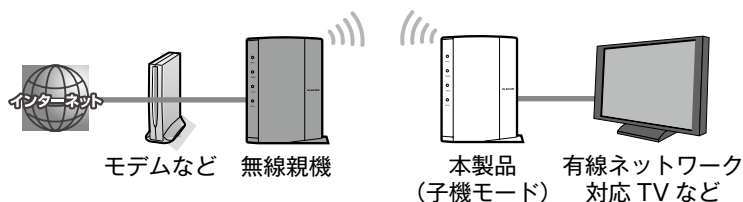
または、本製品とパソコンのみを接続してください。

パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

※ファームウェアバージョン V1.02以降

本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品と組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。



あらかじめ付属のセットアップガイドを参照して、端末との無線設定を行ってください。

子機モードに設定する

MEMO

ルーターモードから子機モードに変更する場合は、INTERNETポートからLANケーブルを外してから設定を始めてください。

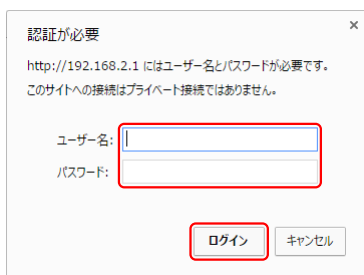
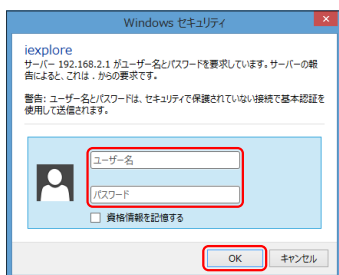
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。

① http://192.168.2.1

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

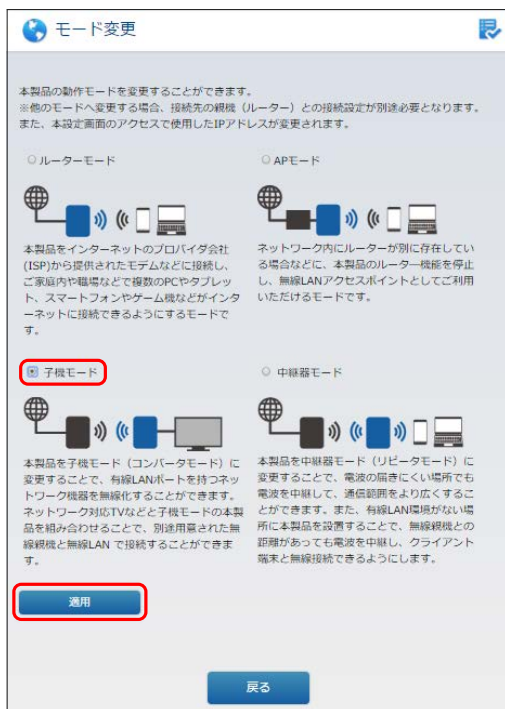
※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



3 詳細設定メニューから[モード変更]を選択 します。



4 モード変更メニューから「子機モード」を選択し、[適用]を選択します。



5 「設定の変更が成功しました」画面の「後で再起動する」をクリックします。



- 6** モード変更画面に戻ります。
[戻る]をクリックします。子機モードの
詳細設定画面が表示されます。詳細設定
メニューから[無線設定]を選択します。



- 7** 「SSIDの選択」の[検索]をクリックします。



- 8** 表示された機器一覧から接続する無線親機のSSIDを選択し、[適用]をクリックします。



- 9** パスワード以外の無線親機の無線情報が反映されますので、無線親機のパスワードを入力して、[適用]をクリックします。

※ 「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字列を表示できます。



MEMO

接続する無線親機の無線情報が分かっている場合は、直接無線情報を入力して[適用]をクリックして設定することもできます。

10

「設定の変更が成功しました」画面の
[再起動]をクリックします。



11

再起動が終了したら、Webブラウザを
閉じて、設定を終了します。

MEMO

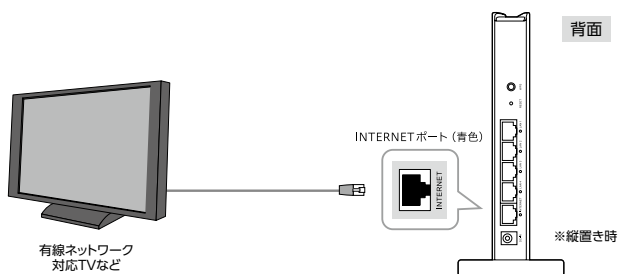
引き続き、有線ネットワーク機器を接続します。あらかじめ接続するネットワーク機器が有線LAN接続でインターネットやネットワークに接続できることを確認しておいてください。

12

本製品背面にあるDC IN端子からACアダプターのプラグを抜いて、電源を切ります。

13

有線ネットワーク機器のLANポートと本製品背面にあるLANポートをLANケーブルで接続します。



MEMO

- ・ LANポートは4ポートあります。いずれのポートに接続してもかまいません。
- ・ 4台までの有線ネットワーク機器が接続することができます。ただし、同時に使用すると、通信速度が低下することがあります。

14

本製品背面にあるDC IN端子にACアダプターのプラグを差し込み、電源を入れます。

15

有線ネットワーク機器からインターネットやネットワークに接続できることを確認します。接続できれば子機モードへのセットアップは完了です。

MEMO

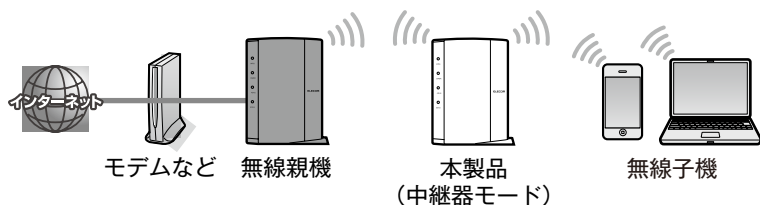
子機モードから他の動作モードに変更するには、本体背面のリセットボタンを10秒以上押し続けて、初期化(工場出荷時の状態)に戻します。(➡P24)
初期化したら、付属の「かんたんセットアップガイド」に従って初期設定を行ってください。

子機モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.245」※
です。モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい
場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」
(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。
または、本製品とパソコンのみを接続してください。
パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照
してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

※ファームウェアバージョン V1.02以降

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広くすることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。



注意

2.4GHzと5GHzの同時使用はできなくなります。接続先の無線親機と本製品との間で使用している周波数帯のみでアクセスできます。

あらかじめ付属のセットアップガイドを参照して、端末との無線設定を行ってください。

中継器モード(リピーターモード) に設定する

MEMO

ルーターモードから中継器モードに変更する場合は、INTERNETポートからLANケーブルを外してから設定を始めてください。

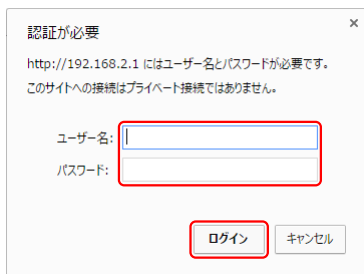
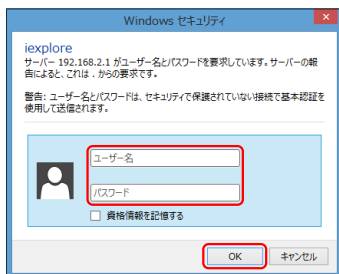
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「<http://192.168.2.1>」を入力します。

① <http://192.168.2.1>

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

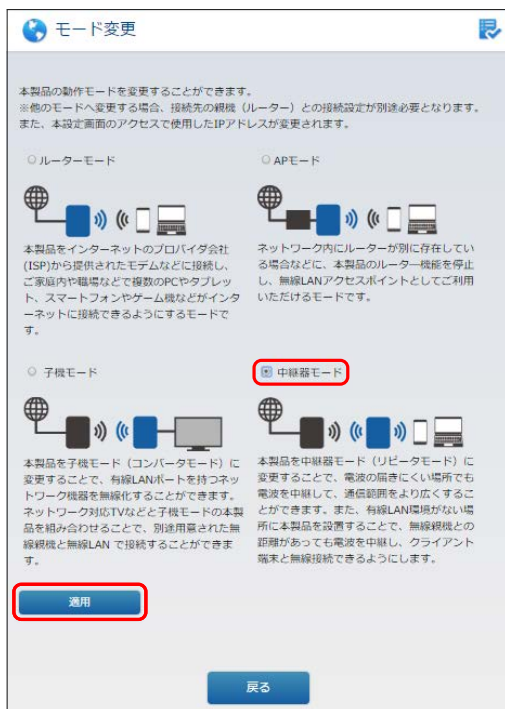
※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



3 詳細設定メニューから[モード変更]を選択 します。



4 モード変更メニューから「中継器モード」を選択し、[適用]をクリックします。



5 「設定の変更が成功しました」画面の「後で再起動する」をクリックします。



- 6** モード変更画面に戻ります。
[戻る]をクリックします。中継器モードの詳細設定画面が表示されます。詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 7** 「SSIDの選択」の[検索]をクリックします。



- 8 表示された機器一覧から接続する無線親機のSSIDを選択し、[適用]をクリックします。



- 9 パスワード以外の無線親機の無線情報が反映されますので、無線親機のパスワードを入力して、[適用]をクリックします。

※「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字列を表示できます。



MEMO

接続する無線親機の無線情報が分かっている場合は、直接無線情報を入力して[適用]をクリックします。

10

「設定の変更が成功しました」画面の
[再起動]をクリックします。



11

再起動が終了したら、Webブラウザを
閉じて、設定を終了します。

12

無線親機と同じSSIDで本製品にアクセス
し、インターネットやネットワークに接続で
きることを確認します。接続できれば、中継
器モードへのセットアップは完了です。

MEMO

中継器モードから他の動作モードに変更するには
本体背面のリセットボタンを10秒以上押し続けて、初
期化(工場出荷時の状態)に戻します。(👉P24)
初期化したら、付属の「かんたんセットアップガイド」に
従って初期設定を行ってください。

中継器モード時の本製品のIPアドレスは、「192.168.2.245」*
です。モード変更後に設定ユーティリティにアクセスしたい
場合は、お使いのパソコンのIPアドレスを「192.168.2.xxx」
(xxxは任意の数字)に固定してアクセスしてください。
または、本製品とパソコンのみを接続してください。
パソコンのIPアドレスを固定する方法は下記のURLを参照
してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

※ファームウェアバージョン V1.02以降

ご近所などでたくさんの無線機器が使われている場合、電波干渉して通信が安定しない場合があります。

本製品と無線子機の間を接続している無線チャンネルを変更すると、安定する場合があります。

無線チャンネルは、以下の手順で変更してください。

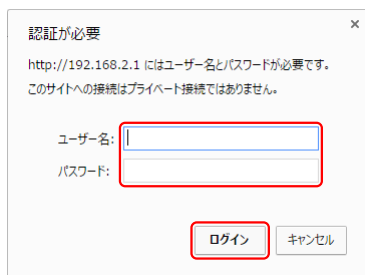
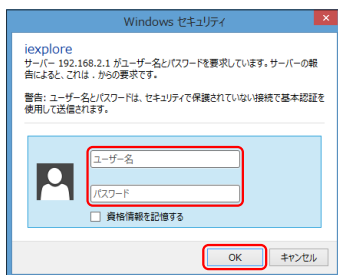
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。



2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



- 3** 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 4** 無線設定メニューから使用帯域(2.4GHz/5GHz)の[基本設定]を選択します。



5 「チャンネル」のプルダウンメニューで
使用したいチャンネルを選択し、[適用]を
クリックします。



2.4GHz	1~13Ch、Auto
5GHz	Ch36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、Auto

MEMO

2.4GHz帯を設定する場合は、11チャンネル以下で設定してください。12・13チャンネルは無線子機が対応していない場合があります。

6

「設定の変更が成功しました」画面の
[再起動]をクリックします。



7

詳細設定画面が表示されたら、Webブラウ
ザーを閉じて、設定を終了します。

暗号キーが他人に見られた、盗まれたなどで、暗号キーを変更したい場合は、以下の手順で変更してください。

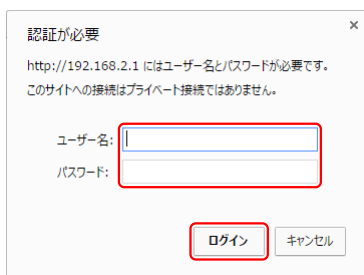
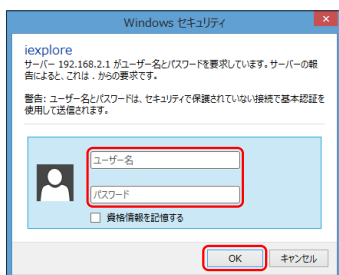
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。



2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



- 3** 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 4** 無線設定メニューから使用帯域(2.4GHz/5GHz)の[暗号化設定]を選択します。



5 「SSIDの選択」で暗号キーを変更したいSSIDを選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: **elecom2g-XXXXXX**

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号化: WPA2 AES

キーの種類: パスワード (8~63 文字)

暗号キー:

☐ パスワードの表示

適用

戻る

6 「暗号キー」に新しい暗号キーを入力し、[適用]をクリックします。

※ 暗号キーの入力形式も変更する場合は、先に「キーの種類」で変更してください。

※ 「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字列が表示できます。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号化: WPA2 AES

キーの種類: パスワード (8~63 文字)

暗号キー: **Aa0123456789**

☒ パスワードの表示

適用

戻る

- 7 「設定の変更が成功しました」画面の
[再起動]をクリックします。



- 8 詳細設定画面が表示されたら、Webブラウザを閉じて、設定を終了します。

- 9 変更した「暗号キー」に合わせ、本製品に接続されている、すべての無線子機の無線設定を再設定する必要があります。

☞P47「2 本製品に無線LANで接続する」を参照して再設定してください。

SSIDステルス機能を有効にすると、SSIDを第三者から見えないようにすることができます。

以下の手順でSSIDステルス機能を有効に設定してください。

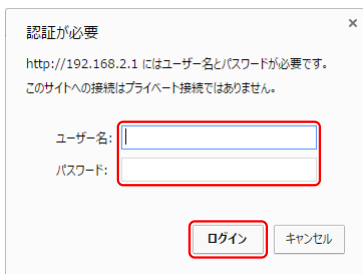
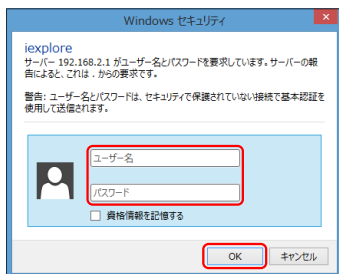
1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。



2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



- 3 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 4 無線設定メニューから使用帯域(2.4GHz/5GHz)の[基本設定]を選択します。



- 5 「SSIDステルス機能」で「有効」を選択し、
「適用」をクリックします。

基本設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

2.4GHz 無線機能: ☒ 有効 ☐ 無効

2.4GHz SSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

- 6 「設定の変更が成功しました」画面の
「再起動」をクリックします。

設定の変更が成功しました

設定は保存されています。今すぐ有効にするには、ルーターを再起動してください。

他の設定を変更し、後から再起動することもできます。

- 7 詳細設定画面が表示されたら、Webブラウザを閉じて、設定を終了します。

本製品には来客専用のゲストSSIDを追加設定することができます。

ゲストSSIDを追加するには、以下の手順で設定してください。

＜本製品がルーターモードで動作している場合＞

ゲストSSIDに接続した端末は、同じゲストSSIDに接続している端末や、ほかのSSIDに接続している端末、また、有線で接続したパソコンへのアクセスを制限し、本製品に接続した他の機器と分離することができます。インターネット(WAN側)のみ接続することができます。

＜本製品がアクセスポイントモードで動作している場合＞

ゲストSSIDに接続した端末は、同じゲストSSIDに接続している端末や、ほかのSSIDに接続している端末へのアクセスを制限し、本製品に接続した他の機器と分離することができます。インターネット(WAN側)のみ接続することができます。

1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://192.168.2.1」を入力します。

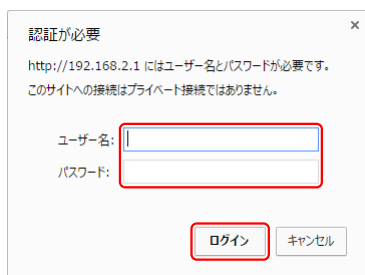
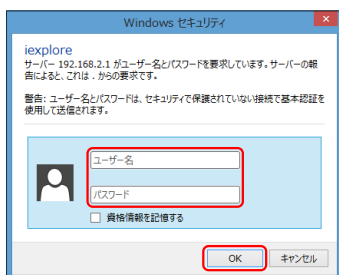


① http://192.168.2.1

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] または[ログイン]をクリックします。

※ ユーザー名は、初期設定で「admin」が設定されています。ご自身で変更された場合は、変更後のユーザー名を入力してください。

※ パスワードは、付属の「かんたんセットアップガイド」の手順⑥「ルーターモードに設定しよう」で、ご自身で決めて設定されたパスワードです。



3 詳細設定メニューから[無線設定]を選択 します。



- 4 無線設定メニューから追加したい帯域 (2.4GHz/5GHz)の[マルチSSID]を選択します。



- 5 ゲストSSIDの「使用します」をチェックします。



6 ゲストSSIDを入力し、SSIDステルス機能の有効／無効を設定して、[適用]をクリックします。

※ ゲストSSIDを「guest-001」で設定する場合の例です。

マルチSSID (2.4GHz)

2.4GHzのマルチSSID、ゲストSSIDの設定を行います。

2.4GHz マルチSSID: ☐ 使用します

2.4GHz マルチSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

2.4GHz ゲストSSID: ☒ 使用します

2.4GHz ゲストSSID: (最大32文字、半角英数字または"-","_"のみ)

SSIDステルス機能:

7 「設定の変更が成功しました」画面の[再起動]をクリックします。

※ 再起動すると詳細設定画面が表示されます。

設定の変更が成功しました

設定は保存されています。今すぐ有効にするには、ルーターを再起動してください。

他の設定を変更し、後から再起動することもできます。

MEMO

追加したままのゲストSSIDは、セキュリティー保護がありません。引き続き、暗号化設定を行います。セキュリティーを高めるため、必ず行ってください。

- 8 詳細設定メニューから[無線設定]を選択します。



- 9 無線設定メニューから使用帯域(2.4GHz/5GHz)の[暗号化設定]を選択します。



SSIDの選択でゲストSSID(guest-001)を選択し、認証方式、暗号化、キーの種類、暗号キーを設定し、[適用]をクリックします。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi(無線LAN)暗号化設定を設定します。

2.4GHz SSIDの選択: guest-001

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号化: WPA2 AES

キーの種類: パスワード (8~63 文字)

暗号キー: Aa01231456789

☒ パスワードの表示

適用

戻る

MEMO

ゲストSSID、認証方式、暗号化、暗号キーをメモして、お客様に伝えてください。

なお、お客様の無線子機が対応していることが前提ですが、安全度の高いセキュリティを確保するため、認証方式は「WPA Pre-Shared key」、暗号化は「WPA2-AES」を推奨します。

11

「設定の変更が成功しました」画面の
[再起動]をクリックします。



12 詳細設定画面が表示されたら、Webブラウザを閉じて、設定を終了します。

MEMO

ゲストSSIDがなくなった場合は、手順 **5** でチェックした「使用します」のチェックを外して、設定を変更してください。

無線LAN関係のトラブル

●無線LANが繋がらない。

- ① ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル(TCP/IPなど)、クライアント(Microsoft Networkクライアントなど)、サービス(Microsoft Network共有サービスなど)を環境に応じて設定する必要があります。
 - ② ルーターなどのDHCPサーバー機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。
- ◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。
- ③ 本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのアクセスコントロール設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、アクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

- **セキュリティー機能を設定後に無線LANがつかない。**
- ① セキュリティー設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
- ② 各セキュリティー機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
- ◆ セキュリティー設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。
- ③ 設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

● **WPSがつかない。**

- ① WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやり直してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。
- ② 入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

● インターネットに接続できない。

- ① TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。

〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

- ② DHCPサーバー機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当ててください。

TCP/IPのプロパティにある〈IPアドレス〉タブで設定します。

- ③ TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダーによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定を行ってください。

- ④ プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。

IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャーなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンターの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？

無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンターの共有はできません。

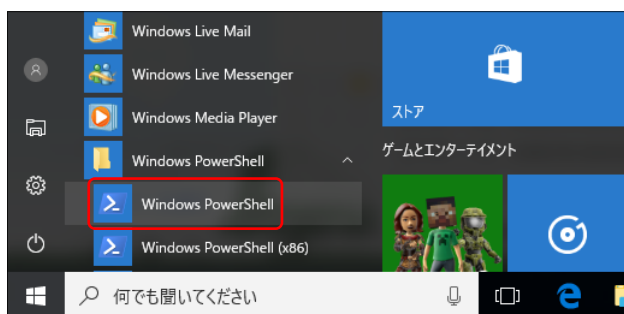
本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティに接続するパソコンのIPアドレスがどのようなになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

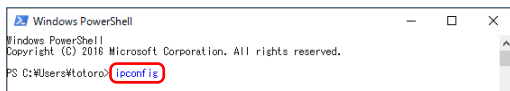
パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 10の場合

- 1 [スタート]→[Windows Powershell]をクリックします。

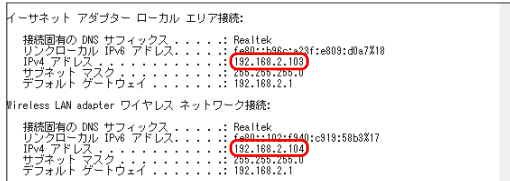


2 「Windows Powershell」画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※ 入力する文字は半角英数字です。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

3 有線LAN接続は「イーサネット アダプター ローカル エリア接続」の、無線LAN接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

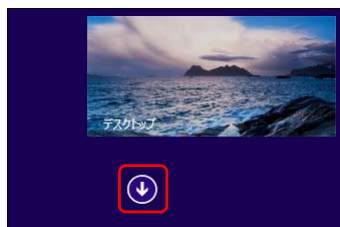


※ 本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

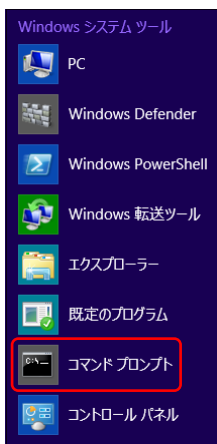
MEMO

本製品を工場出荷時状態(初期値)で使用されている場合に、パソコンに表示されるIPアドレスの内容については、P232「工場出荷時での表示結果」を参照してください。

- 1 スタート画面の左下にある[下矢印]をクリックします。



- 2 アプリ一覧から「Windowsシステムツール」の「コマンドプロンプト」をクリックします。



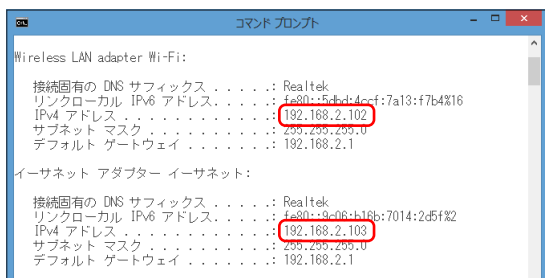
※ 入力する文字は半角英数字です。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

- 3 「コマンドプロンプト」画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※ 入力する文字は半角英数字です。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

- 4 無線LAN接続は「Wireless LAN adapter Wi-Fi」の、有線LAN接続は「イーサネット アダプター イーサネット※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

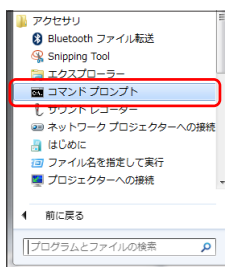


※ 本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

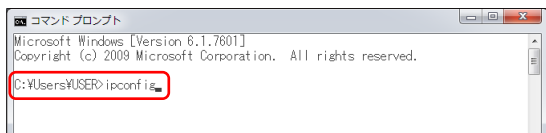
MEMO

本製品を工場出荷時状態(初期値)で使用されている場合に、パソコンに表示されるIPアドレスの内容については、P232「工場出荷時での表示結果」を参照してください。

- 1 [スタート]→[すべてのプログラム]→
[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]の
順にクリックします。

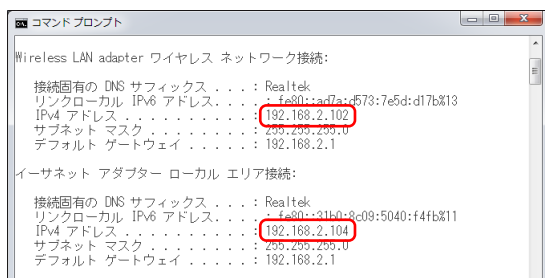


- 2 「コマンドプロンプト」画面が表示されます。
「>」のあとにカーソルが点滅している状態
で、キーボードから「ipconfig」と入力し、
[Enter]キーを押します。



※ 入力する文字は半角英数字です。「"xxx"」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

3 無線LAN接続は「Wireless LAN adapter Wi-Fi」の、「イーサネット アダプター ローカル エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。



※ 本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

MEMO

本製品を工場出荷時状態(初期値)で使用されている場合に、パソコンに表示されるIPアドレスの内容については、P232「工場出荷時での表示結果」を参照してください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字(初期値:100~200のいずれか)です。またサブネットマスクが「255. 255. 255. 0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表示されていれば、本製品と正常に接続されています。

●無線LAN部

機種	WRC-1167GHBK-S / WRC-1167GEBK-S
規格	IEEE802.11ac(5GHz帯) IEEE802.11n(2.4GHz/5GHz帯) IEEE802.11g(2.4GHz帯) IEEE802.11b(2.4GHz帯) IEEE802.11a(5GHz帯)
周波数帯域	5GHz帯: 5,150～5,250MHz(W52:5.2GHz)、 5,250～5,350MHz(W53:5.3GHz)、 5,470～5,725MHz(W56:5.6GHz) 2.4GHz帯: 2,400～2,484MHz
チャンネル	5GHz帯: [W52]36、40、44、48ch、 [W53]52、56、60、64ch、 [W56]100、104、108、112、116、120、124、128、 132、136、140ch 2.4GHz帯: Auto/1～13ch
伝送方式	IEEE802.11ac/11n/11g/11a: OFDM方式、MIMO方式 IEEE802.11b: DS-SS方式
データ転送速度 (無線)	IEEE802.11ac: 最大867Mbps IEEE802.11n: 最大300Mbps IEEE802.11g: 最大54Mbps IEEE802.11b: 最大11Mbps IEEE802.11a: 最大54Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー(親機)
アンテナ方式 (5GHz帯)	2本(送信×2、受信×2)
アンテナ方式 (2.4GHz帯)	2本(送信×2、受信×2)
セキュリティ	SSID(ステルス設定可)、WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(TKIP)、 WEP(64bit/128bit)
セパレーター 機能	プライバシーセパレーター/SSIDセパレーター対応 (ゲストSSIDに対して機能)
ビームフォーミング	対応(初期値:有効)
設定方式	WPS、かんたんセットアップ2、設定ユーティリティ(詳細設定)

●WAN／有線LAN

機種		WRC-1167GHBK-S / WRC-1167GEBK-S	
規格		IEEE802.3ab(1000BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX) IEEE802.3(10BASE-T)	
データ伝送 速度	WAN	1000/100/10Mbps	1000/100/10Mbps
	LAN	1000/100/10Mbps	100/10Mbps
コネクタ		WAN:RJ-45×1ポート、LAN:RJ-45×4ポート	
Auto MDI/ MDIX		対応	
オートネゴシエ ション		対応	

●ルーター、その他一般仕様

機種		WRC-1167GHBK-S / WRC-1167GEBK-S	
LAN側 IPアドレス		ルーターモード時:192.168.2.1 その他モード時:192.168.2.245	
ルーティング 対応プロトコル		TCP/IP (IPv4)	
インターネット (WAN)接続方式		PPPoE認証接続(1セッション)、IPアドレス自動取得接続、 IPアドレス固定接続	
LAN接続方式設定		IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続	
セキュリティ		MACアドレスフィルタリング(拒否のみ)	
ローカルサーバー 機能		ポートフォワーディング、DMZ	
ダイナミックDNS (DDNS)		SkyLinkDDNS(エレコム提供DDNSサービス)、DynDNS	
動作環境		温度:0～40℃、湿度:10～85%(ただし結露なきこと)	
消費電力		約6.9W	約6.6W
外形寸法		約幅130.0×奥行26.0×高さ182.5mm(スタンド含まず)	
質量(本体のみ)		約230g	

※ファームウェアバージョン 1.02以降



無線LANブロードバンドルーター

WRC-1167GHBK-S/WRC-1167GEBK-S ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

2017年9月8日 第2版